

アセットインベントリリファレンス

Novell. ZENworks® 10 Asset Management SP2

10.2

2009年5月27日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	9
1 概要	11
1.1 ハードウェア情報のスキャン	11
1.2 ソフトウェア情報のスキャン	11
1.3 人口統計情報のスキャン	11
1.4 セキュリティ上の考慮事項	12
2 管理対象デバイスのスキャン	13
2.1 インベントリスキャンの設定	13
2.1.1 管理ゾーン向けのスキャンの設定	13
2.1.2 フォルダ内のデバイス用スキャンの設定	17
2.1.3 デバイス用のスキャンの設定	21
2.2 インベントリスキャンのスケジュール	25
2.2.1 管理ゾーン向けのインベントリスキャンスケジュールの設定	25
2.2.2 フォルダ内のデバイス用インベントリスキャンスケジュールの設定	34
2.2.3 デバイスに対するインベントリスキャンスケジュールの設定	43
2.3 インベントリスキャンの実行	52
2.4 管理対象デバイスのインベントリレポートの表示	53
2.5 管理対象デバイスのインベントリデータの編集	55
3 インベントリだけのデバイスのスキャン	57
3.1 インベントリだけのスキャンの設定	57
3.2 インベントリだけのスキャンのスケジュール	61
3.2.1 インベントリだけのスキャンスケジュールを設定する	61
3.3 インベントリだけのデバイス向けのインベントリレポートの表示	64
3.4 インベントリのみデバイスの人口統計データの編集	65
3.5 調整の有効化	66
3.6 ポータブルコレクタの使用	67
3.6.1 Windows デバイス用のポータブルコレクタの作成	67
3.6.2 Windows デバイス上でポータブルコレクタの実行	67
3.6.3 ポータブルコレクタを OSX デバイス上で実行する	68
3.6.4 ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート	68
4 人口統計データのスキャン	71
4.1 コレクションデータフォームの設定	71
4.1.1 管理ゾーン	72
4.1.2 フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの設定	73
4.1.3 デバイス向けのコレクションデータフォームの設定	75
4.2 コレクションデータフォームの展開	77
4.3 コレクションデータフォームの展開スケジュール	78
4.3.1 管理ゾーン向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール	78
4.3.2 フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール	86
4.3.3 デバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール	94
4.4 クイックタスクを使用したデータコレクションフォームの展開	102
4.5 デバイスタスクを使用したデータコレクションフォームの展開	103

4.6	インベントリのみデバイスの人口統計データのスキャン	104
5	人口統計データのインポート	107
5.1	LDAP インポートタスクの作成	107
5.2	LDAP インポートタスクの表示または編集	114
6	ローカルソフトウェア製品の作成	115
6.1	ローカルソフトウェア製品の理解	115
6.2	ローカルソフトウェア製品パネルの理解	115
6.3	ローカルソフトウェア製品の作成	116
6.4	ローカルソフトウェア製品の統合	118
6.5	製品情報の編集	118
6.5.1	製品のネーミングデータの編集	119
6.5.2	製品認識データの編集	120
6.6	ZENworks ナレッジベースの更新	122
6.6.1	ローカルソフトウェア製品と ZENworks ナレッジベースのマージ	122
6.6.2	PRU を使用した ZENworks ナレッジベースの更新	123
7	管理者が定義したフィールドの使用	125
7.1	管理者が定義したフィールドについて	125
7.2	管理者定義フィールドの作成	125
8	レポートの使用	129
8.1	インベントリ標準レポートの使用	129
8.1.1	利用可能な標準レポート	129
8.1.2	標準レポートの実行	131
8.2	インベントリカスタムレポートの使用	132
8.2.1	利用可能なカスタムレポート	133
8.2.2	カスタムレポートの実行	134
8.2.3	カスタムレポートの作成	135
8.2.4	カスタムレポートのスケジュールと通知の送信	137
8.2.5	電子メールアドレスの設定	138
8.2.6	カスタムレポートの編集	139
8.2.7	カスタムレポートの移動	140
8.2.8	カスタムレポートまたはフォルダの削除	141
8.2.9	日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示	141
8.2.10	新しいレポート定義のインポート	142
8.3	インベントリレポート権限	142
9	コンポーネントデータの管理	145
9.1	コンポーネントの検索とコンポーネントデータの表示	145
9.2	コンポーネントデータの編集	146
9.2.1	管理者が定義したフィールドの使用	147
10	製品データの管理	149
10.1	製品の検索と製品データの表示	149
10.2	製品の再分類	150
10.3	製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理	150
10.3.1	新しい製品カテゴリの作成	151

10.3.2	製品カテゴリの名前変更	152
10.3.3	製品カテゴリの削除	152
10.3.4	新しい製品サブカテゴリの作成	152
10.3.5	製品サブカテゴリの名前変更	153
10.3.6	製品サブカテゴリの削除	153

A	トラブルシューティングアセットインベントリ	155
----------	------------------------------	------------

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 アセットインベントリリファレンス』には、インベントリタスクを正常に実行するために役立つ情報が含まれています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- 11 ページの第 1 章「概要」
- 13 ページの第 2 章「管理対象デバイスのスキャン」
- 57 ページの第 3 章「インベントリのみデバイスのスキャン」
- 71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」
- 107 ページの第 5 章「人口統計データのインポート」
- 115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」
- 125 ページの第 7 章「管理者が定義したフィールドの使用」
- 129 ページの第 8 章「レポートの使用」
- 145 ページの第 9 章「コンポーネントデータの管理」
- 149 ページの第 10 章「製品データの管理」
- 155 ページの付録 A「トラブルシューティングアセットインベントリ」

対象読者

このガイドは、Novell® ZENworks® の管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

Novell® ZENworks® 10 アセットインベントリを使用すると、管理ゾーン内のすべてのデバイスのインベントリ (ハードウェア、ソフトウェア、および人口統計のデータを含む) を取得できます。

詳細情報については、次のセクションを参照してください。

- 11 ページのセクション 1.1 「ハードウェア情報のスキャン」
- 11 ページのセクション 1.2 「ソフトウェア情報のスキャン」
- 11 ページのセクション 1.3 「人口統計情報のスキャン」
- 12 ページのセクション 1.4 「セキュリティ上の考慮事項」

1.1 ハードウェア情報のスキャン

アセットインベントリを使用すると、管理ゾーン内のすべてのデバイスをスキャンし、これらのデバイスのハードウェアデータを収集できます。このデータは標準レポートまたはカスタムレポートを使用してさまざまな方法で表示できます。

1.2 ソフトウェア情報のスキャン

アセットインベントリを使用すると、管理ゾーン内のすべてのデバイスをスキャンし、これらのデバイスにインストールされているソフトウェア製品のデータを収集できます。アセットインベントリでは、何千もの製品を識別して追加製品を定義できるため、これらの製品が後続のスキャンや他のデバイス上で認識可能になります。データはさまざまなレポート上で表示できます。このデータは一般情報、ライセンスコンプライアンスなどに使用できます。

1.3 人口統計情報のスキャン

アセットインベントリを使用すると、次のいずれかの方法で人口統計を収集できます。

- **コレクションデータフォーム** : 人工統計データ (名前、電話番号、部門、コストセンターなど) に関して、ワークステーションユーザをポーリングできます。この情報はインベントリデータに追加され、管理ゾーン内のすべてのデバイスの完全な情報を提供します。
- **LDAP インポートタスク** : 人口統計データは、Microsoft* Active Directory™ および Novell eDirectory™ から Novell ZENworks データベースにインポートできます。Active Directory ソースまたは e-Directory LDAP ソースのタスクを設定し、各タスクを個々にスケジュールできます。

1.4 セキュリティ上の考慮事項

インベントリデータはエージェントから収集されるため、一貫性保護は提供されません。インベントリデータへのアクセスは、管理ゾーン内のマシンに対する攻撃方法に関する情報を提供する可能性があるため、アセットインベントリは安全な環境でのみ使用してください。また、インベントリデータが保存されているデータベースも保護されていなければなりません。

管理対象デバイスのスキャン

管理対象デバイスのインベントリスキャンを行うと、デバイスごとのハードウェア、ソフトウェア、および人口統計データに関する詳細レポートを入手できます。次のセクションでは、インベントリスキャンについて説明します。

- 13 ページのセクション 2.1 「インベントリスキャンの設定」
- 25 ページのセクション 2.2 「インベントリスキャンのスケジュール」
- 52 ページのセクション 2.3 「インベントリスキャンの実行」
- 53 ページのセクション 2.4 「管理対象デバイスのインベントリレポートの表示」
- 55 ページのセクション 2.5 「管理対象デバイスのインベントリデータの編集」

2.1 インベントリスキャンの設定

インベントリスキャンを使用すると、管理ゾーンにある管理対象デバイスからデータを収集できます。デフォルトでは、インベントリ設定は事前に行われています。

スキャン設定は次の 3 つのレベルで定義できます。

- **管理ゾーン**：設定はすべてのデバイスフォルダおよびデバイスに継承されます。管理ゾーンにスキャンを設定するには、13 ページのセクション 2.1.1 「管理ゾーン向けのスキャンの設定」を参照してください。
- **デバイスフォルダ**：Agent の設定はフォルダまたはそのサブフォルダ内に含まれるすべてのデバイスによって継承されます。管理ゾーンの設定の上書き。
- **デバイス**：この設定は、それが設定されたデバイスにのみ適用されます。管理ゾーンレベルとデバイスフォルダレベルで設定を上書きします。デバイスのスキャンを設定するには、21 ページのセクション 2.1.3 「デバイス用のスキャンの設定」を参照してください。

2.1.1 管理ゾーン向けのスキャンの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[管理ゾーン設定] パネルで [インベントリ] をクリックします。
- 2 カテゴリリストで [インベントリ] をクリックします。
- 3 [今からスキャンします] パネルで、[クイックタスク] メニュー、デバイスタスク、または [ZENworks アイコン] メニューを使用してオンデマンドインベントリスキャンの実行方法を設定します。

オンデマンドインベントリスキャンの実行の詳細については、52 ページのセクション 2.3 「インベントリスキャンの実行」を参照してください。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されません。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks® ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するために使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、[115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」](#)を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、[71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」](#)を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

ユーザがスキャンを開始: ワークステーションのユーザが ZENworks アイコンを使用してスキャンを開始できるようにする場合は、このオプションを選択します。

- 4 [最初のスキャン] パネルで、デバイスに最初のインベントリスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されません。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、[115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」](#)を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: スキャンが開始されたときに人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信したい場合は、このオプションを選択します。詳細については、[71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」](#)を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

- 5 [反復スキャン] パネルで、スケジュールに基づいてスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されません。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

- 6 [ソフトウェアアプリケーション] パネルで、スキップするディレクトリを設定します。



ディレクトリのスキップは、スキャンの範囲を制限するのに役立ちます。リストに含まれるディレクトリはスキップされます。

- ディレクトリを追加するには、[ディレクトリのスキップ] フィールドでディレクトリを指定し、[追加] をクリックします。
- 既存のディレクトリを編集するには、ディレクトリを選択し、[編集] をクリックして、ディレクトリを編集し、[OK] をクリックします。
- 既存のディレクトリを削除するには、ディレクトリを選択し、[削除] をクリックします。

- 7 [ソフトウェアファイル] パネルで、スキャンするファイルタイプを設定します。



インベントリスキャンで検出されたソフトウェアアプリケーションは、その製品に関連付けられている特定のファイルで識別されます。これらの識別情報は、ZENworks ナレッジベースに保存されます。ナレッジベースにない製品を識別するために、未確認の製品に関連付けられているファイルを検索し、そのファイル情報を使用してローカルソフトウェア製品と呼ばれる新しい製品識別情報を作成することができます。このローカルソフトウェア製品情報は、ナレッジベースとマージすることができるので、後続のスキャンではこれらの新しい製品が認識されるようになります。詳細については、[115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」](#)を参照してください。ファイルタイプを設定するには、次のステップを実行します。

- .exe 拡張子付きのファイルを検索するには、[EXE ファイルを集める] オプションを選択します。
- その他の拡張子付きのファイルを検索するには、[追加拡張] フィールドに拡張子を指定します。拡張子ごとに + 記号を使用して区切ります。たとえば、com+dll などです。
- 特定のファイルタイプをスキャンするには、次の中から選択します。
 - **システム**：システムファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - **付属アプリケーション**：ZENworks ナレッジベースによって認識される製品の付属する、または関連付けられているファイルを検索するには、このオプションを選択します。このオプションは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - **その他**：他のすべてのファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
- ZENworks ナレッジベースが認識する製品を持つディレクトリを含めるには、[認識済みの製品をディレクトリに含める] を選択します。これは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。
- ファイルおよびパスを含めるか、または除外してスキャン範囲を制限するには、[追加] および [削除] を使用して、コレクションのどのファイルおよびパスを含めるか、または除外するのを設定し、スキャンに含めるか、除外するファイルおよびパスを指定します。ファイルまたはパスを選択して [編集] をクリックすることで、リスト内のファイルとパスを編集できます。[コレクションに含めるファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを入力すると、そのファイルまたはパスに限定してスキャンが行われます。[コレクションから除外

するファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを指定すると、指定したファイルまたはパス以外のすべてのファイルとパスが検索されます。[ソフトウェアアプリケーション] パネルで指定したパスもスキップされます。

注: パスを指定する場合は、末尾にバックスラッシュ (\) をインクルードする必要があります。たとえば、すべての .exe ファイルを dir ディレクトリにインクルードする場合は、C:\dir\ と入力します。

- 8 [詳細] パネルで、診断の設定を行います。



警告: これらのオプションは高度な診断用です。使用する場合は、Novell サポート担当者の指示に従ってください。

- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

2.1.2 フォルダ内のデバイス用スキャンの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] タブをクリックし、次に [管理] タブをクリックします。
- 2 スキャンを設定したいデバイスを含むフォルダの隣にある [詳細] をクリックします。
- 3 [設定] タブをクリックします。
- 4 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 5 [カタログ] リストで、[インベントリ] をクリックします。
- 6 [インベントリ] パネルで、[設定の上書き] をクリックします。
これらのデバイスの管理ゾーン設定が上書きされます。
- 7 [今からスキャンします] パネルで、[クイックタスク] メニュー、デバイスタスク、または [ZENworks アイコン] メニューを使用してオンデマンドインベントリスキャンの実行方法を設定します。

オンデマンドインベントリスキャンの実行の詳細については、[52 ページのセクション 2.3 「インベントリスキャンの実行」](#) を参照してください。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それ

をナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

ユーザがスキャンを開始: ワークステーションのユーザが ZENworks アイコンを使用してスキャンを開始できるようにする場合は、このオプションを選択します。

- 8 [最初のスキャン] パネルで、デバイスに最初のインベントリスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

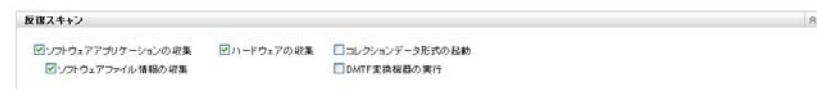
ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

- 9 [反復スキャン] パネルで、スケジュールに基づいてスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されません。

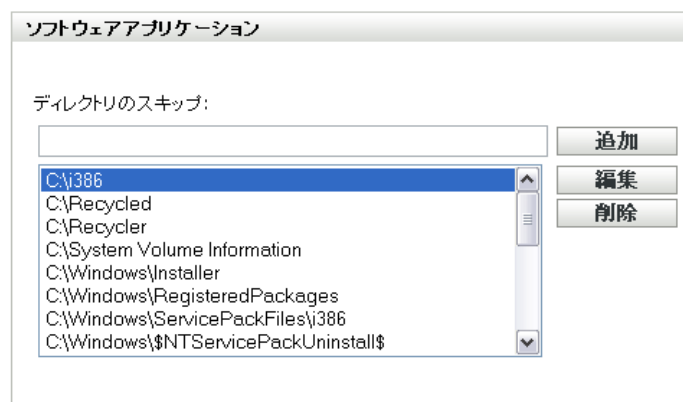
ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: スキャンが開始されたときに人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信したい場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

- 10 [ソフトウェアアプリケーション] パネルで、スキップするディレクトリを設定します。



ディレクトリのスキップは、スキャンの範囲を制限するのに役立ちます。リストに含まれるディレクトリはスキップされます。

- ディレクトリを追加するには、[ディレクトリのスキップ] フィールドでディレクトリを指定し、[追加] をクリックします。
- 既存のディレクトリを編集するには、ディレクトリを選択し、[編集] をクリックして、ディレクトリを編集し、[OK] をクリックします。
- 既存のディレクトリを削除するには、ディレクトリを選択し、[削除] をクリックします。

- 11 [ソフトウェアファイル] パネルで、スキャンするファイルタイプを設定します。



インベントリスキャンで検出されたソフトウェアアプリケーションは、その製品に関連付けられている特定のファイルで識別されます。これらの識別情報は、ZENworks ナレッジベースに保存されます。ナレッジベースにない製品を識別するために、未確認の製品に関連付けられているファイルを検索し、そのファイル情報を使用してローカルソフトウェア製品と呼ばれる新しい製品識別情報を作成することができます。このローカルソフトウェア製品情報は、ナレッジベースとマージすることができるので、後続のスキャンではこれらの新しい製品が認識されるようになります。詳細については、[115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」](#)を参照してください。ファイルタイプを設定するには、次のステップを実行します。

- ◆ .exe 拡張子付きのファイルを検索するには、[EXE ファイルを集める] オプションを選択します。
- ◆ その他の拡張子付きのファイルを検索するには、[追加拡張] フィールドに拡張子を指定します。拡張子ごとに + 記号を使用して区切ります。たとえば、com+dll などです。
- ◆ 特定のファイルタイプをスキャンするには、次の中から選択します。
 - ◆ システム：システムファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ 付属アプリケーション：ZENworks ナレッジベースによって認識される製品の付属する、または関連付けられているファイルを検索するには、このオプションを選択します。このオプションは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ その他：他のすべてのファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
- ◆ ZENworks ナレッジベースが認識する製品を持つディレクトリを含めるには、[認識済みの製品をディレクトリに含める] を選択します。これは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。
- ◆ ファイルおよびパスを含めるか、または除外してスキャン範囲を制限するには、[追加] および [削除] を使用して、コレクションのどのファイルおよびパスを含めるか、または除外するのを設定し、スキャンに含めるか、除外するファイルおよびパスを指定します。ファイルまたはパスを選択して [編集] をクリックすることで、リスト内のファイルとパスを編集できます。[コレクションに含めるファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを入力すると、そのファイルまたはパスに限定してスキャンが行われます。[コレクションから除外

するファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを指定すると、指定したファイルまたはパス以外のすべてのファイルとパスが検索されます。[ソフトウェアアプリケーション] パネルで指定したパスもスキップされます。

注: パスを指定する場合は、末尾にバックスラッシュ (\) をインクルードする必要があります。たとえば、すべての .exe ファイルを dir ディレクトリにインクルードする場合は、C:\dir\ と入力します。

- 12 [詳細] パネルで、診断の設定を行います。



警告: これらのオプションは高度な診断用です。使用する場合は、Novell サポート担当者の指示に従ってください。

- 13 [適用] または [OK] をクリックします。

2.1.3 デバイス用のスキャンの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 スキャンを設定したいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 3 デバイスをクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックします。
- 5 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 6 [カタログ] リストで、[インベントリ] をクリックします。
- 7 [インベントリ] パネルで、[設定の上書き] をクリックします。
このデバイスの管理ゾーンおよびフォルダ設定が上書きされます。
- 8 [今からスキャンします] パネルで、[クイックタスク] メニューまたは [ZENworks アイコン] メニューを使用してオンデマンドインベントリスキャンの実行方法を設定します。オンデマンドインベントリスキャンの実行の詳細については、[52 ページのセクション 2.3 「インベントリスキャンの実行」](#) を参照してください。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それ

をナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

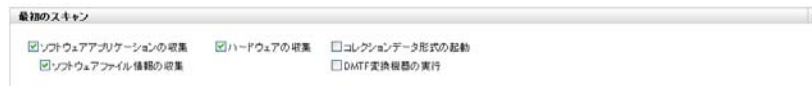
ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

ユーザがスキャンを開始: ワークステーションのユーザが ZENworks アイコンを使用してスキャンを開始できるようにする場合は、このオプションを選択します。

- 9 [最初のスキャン] パネルで、デバイスに最初のインベントリスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: スキャンが開始されたときに人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信したい場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

- 10 [反復スキャン] パネルで、スケジュールに基づいてスキャンを実行する方法を設定します。



ソフトウェアアプリケーションの収集: ソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品を識別するのに使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

ハードウェアの収集: ハードウェアデータをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

コレクションデータフォームの起動: 人口統計データを収集するために使用されるコレクションデータフォームを送信する場合は、このオプションを選択します。詳細については、71 ページの第 4 章「人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

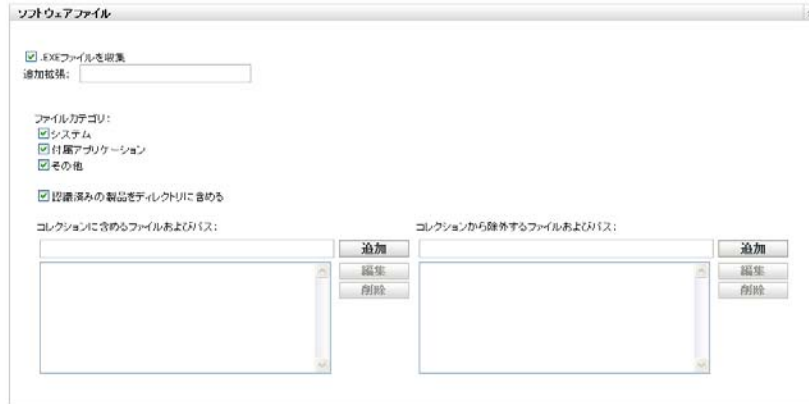
- 11 [ソフトウェアアプリケーション] パネルで、スキップするディレクトリを設定します。



ディレクトリのスキップは、スキャンの範囲を制限するのに役立ちます。リストに含まれるディレクトリはスキップされます。

- ディレクトリを追加するには、[ディレクトリのスキップ] フィールドでディレクトリを指定し、[追加] をクリックします。
- 既存のディレクトリを編集するには、ディレクトリを選択し、[編集] をクリックして、ディレクトリを編集し、[OK] をクリックします。
- 既存のディレクトリを削除するには、ディレクトリを選択し、[削除] をクリックします。

- 12 [ソフトウェアファイル] パネルで、スキャンするファイルタイプを設定します。



インベントリスキャンで検出されたソフトウェアアプリケーションは、その製品に関連付けられている特定のファイルで識別されます。これらの識別情報は、ZENworks ナレッジベースに保存されます。ナレッジベースにない製品を識別するために、未確認の製品に関連付けられているファイルを検索し、そのファイル情報を使用してローカルソフトウェア製品と呼ばれる新しい製品識別情報を作成することができます。このローカルソフトウェア製品情報は、ナレッジベースとマージすることができるので、後続のスキャンではこれらの新しい製品が認識されるようになります。詳細については、[115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」](#)を参照してください。ファイルタイプを設定するには、次のステップを実行します。

- ◆ .exe 拡張子付きのファイルを検索するには、[EXE ファイルを集める] オプションを選択します。
- ◆ その他の拡張子付きのファイルを検索するには、[追加拡張] フィールドに拡張子を指定します。拡張子ごとに + 記号を使用して区切ります。たとえば、com+dll などです。
- ◆ 特定のファイルタイプをスキャンするには、次の中から選択します。
 - ◆ システム：システムファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ 付属アプリケーション：ZENworks ナレッジベースによって認識される製品の付属する、または関連付けられているファイルを検索するには、このオプションを選択します。このオプションは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ その他：他のすべてのファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
- ◆ ZENworks ナレッジベースが認識する製品を持つディレクトリを含めるには、[認識済みの製品をディレクトリに含める] を選択します。これは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。
- ◆ ファイルおよびパスを含めるか、または除外してスキャン範囲を制限するには、[追加] および [削除] を使用して、コレクションのどのファイルおよびパスを含めるか、または除外するのを設定し、スキャンに含めるか、除外するファイルおよびパスを指定します。ファイルまたはパスを選択して [編集] をクリックすることで、リスト内のファイルとパスを編集できます。[コレクションに含めるファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを入力すると、そのファイルまたはパスに限定してスキャンが行われます。[コレクションから除外

するファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを指定すると、指定したファイルまたはパス以外のすべてのファイルとパスが検索されます。[ソフトウェアアプリケーション] パネルで指定したパスもスキップされます。

注: パスを指定する場合は、末尾にバックスラッシュ (\) をインクルードする必要があります。たとえば、すべての .exe ファイルを dir ディレクトリにインクルードする場合は、C:\dir\ と入力します。

- 13 [詳細] パネルで、診断の設定を行います。



警告: これらのオプションは高度な診断用です。使用する場合は、Novell サポート担当者の指示に従ってください。

- 14 [適用] または [OK] をクリックします。

2.2 インベントリスキャンのスケジュール

このセクションでは、インベントリスキャンのスケジュール方法について説明します。デフォルトでは、インベントリスケジュールは設定済みです。

スキャンスケジュール設定は次の3つのレベルで定義できます。

- ◆ **管理ゾーン:** 設定はすべてのデバイスフォルダおよびデバイスに継承されます。管理ゾーンにスキャンをスケジュールするには、[25 ページのセクション 2.2.1 「管理ゾーン向けのインベントリスキャンスケジュールの設定」](#)を参照してください。
- ◆ **デバイスフォルダ:** Agent の設定はフォルダまたはそのサブフォルダ内に含まれるすべてのデバイスによって継承されます。管理ゾーンの設定を上書きします。フォルダ内のデバイスに対してスキャンをスケジュールするには、[17 ページのセクション 2.1.2 「フォルダ内のデバイス用スキャンの設定」](#)を参照してください。
- ◆ **デバイス:** この設定は、それが設定されたデバイスにのみ適用されます。管理ゾーンレベルおよびデバイスフォルダレベルで設定を上書きします。デバイスに対してスキャンをスケジュールするには、[43 ページのセクション 2.2.3 「デバイスに対するインベントリスキャンスケジュールの設定」](#)を参照してください。

2.2.1 管理ゾーン向けのインベントリスキャンスケジュールの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[管理ゾーン設定] パネルで [インベントリ] をクリックします。
- 2 カテゴリリストの中で [インベントリスケジュール] をクリックします。
- 3 [スケジュールタイプ] フィールドで、使用するスケジュールのタイプを選択します。

スケジュールなし: スキャンがスケジュールされていません。詳細については、[26 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。

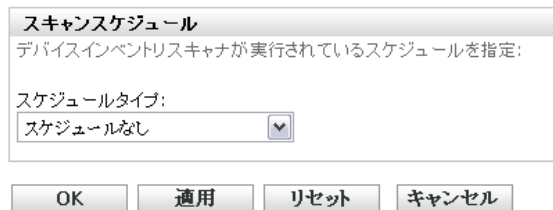
特定の日付: スキャンが特定の日に実行されます。詳細については、[26 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。

繰り返し : スキャンが繰り返しのスケジュールで実行されます。詳細については、[27 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。

イベント : スキャンがイベントによってトリガされます。詳細については、[33 ページの「イベント」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。



スキャンスケジュール
デバイスインベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

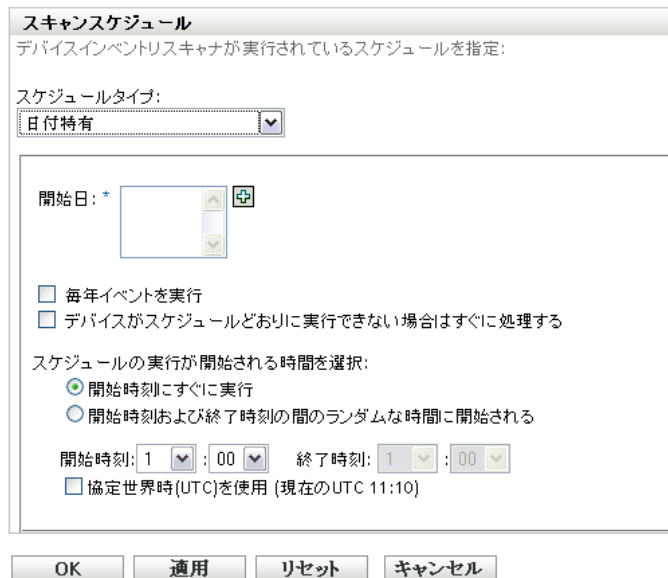
スケジュールタイプ:
スケジュールなし

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [適用] または [OK] をクリックします。
自動スキャンは設定されません。

特定の日付

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。



スキャンスケジュール
デバイスインベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:
日付特有

開始日: *

毎年イベントを実行
 デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:
 開始時刻すぐに実行
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: 1 : 00 終了時刻: 1 : 00
 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:10)

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。
- 3 (オプション) [毎年イベントを実行] を選択し、毎年選択した日付にスキャンを実行します。
- 4 スキャンを指定した時間に開始するか、指定した開始時間および終了時間の間でランダムに開始するかを選択します。

- 5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。
- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新された時、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でスキャンを実行するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール

デバイスインベントリリスクアナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:
繰り返し

デバイスの更新時

リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/21 開始時刻: 1 : 00

[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:
 繰り返し

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

- 3 (オプション) 更新後の一定期間スキャンを遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分で指定します。
- 4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスインベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:
 繰り返し

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月

日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/21 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [曜日] を選択します。

- 3 スキャンを実行する曜日を選択します。
- 4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。
- 5 [詳細オプション] をクリックします。

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月スキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [月] を選択します。

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

3 [日付] を選択し 1 ~ 31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、繰り返しスキャンを行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。

7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。

8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。

9 [適用] または [OK] をクリックします。

一定の間隔でスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

- 3 それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。
- 4 カレンダーアイコンをクリックして日付を選択して、開始日付を指定します。
- 5 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。
- 6 [詳細オプション] をクリックします。

● 固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 7 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を次の日付範囲に限定] を選択し、終了日付および終了時刻を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

注: コレクションサテライトサーバを管理ゾーンで設定する場合は、[収集ロールアップスケジュール] をスキャン間隔より頻繁にしてください。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。

スケジュールタイプ:

イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

- 2 動作を選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks - ログイン
 - ◆ ZENworks - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows* のみ)

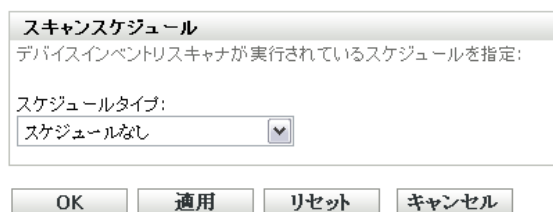
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。
選択したイベントに続いてスキャンが行われます。

2.2.2 フォルダ内のデバイス用インベントリスキャンスケジュールの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 インベントリスキャンスケジュールを設定するデバイスを含むフォルダの隣にある [詳細] をクリックします。
- 3 [設定] タブをクリックします。
- 4 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 5 [設定] リストで、[インベントリスケジュール] をクリックします。
- 6 [インベントリスケジュール] パネルで、[設定の上書き] をクリックします。
これらのデバイスの管理ゾーン設定が上書きされます。
- 7 [スケジュールタイプ] フィールドで、使用するスケジュールの種類を選択します。
スケジュールなし：スキャンがスケジュールされていません。詳細については、[43 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。
特定の日付：スキャンが特定の日に実行されます。詳細については、[43 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。
繰り返し：スキャンが繰り返しのスケジュールで実行されます。詳細については、[44 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。
イベント：スキャンがイベントによってトリガされます。詳細については、[51 ページの「イベント」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。



- 2 [適用] または [OK] をクリックします。
自動スキャンは設定されません。

特定の日付

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイventリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

開始日: *

毎年イベントを実行
 デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:
 開始時刻にすぐに実行
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: : 終了時刻: :

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:10)

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。
- 3 (オプション) [毎年イベントを実行] を選択し、毎年選択した日付にスキャンを実行します。
- 4 スキャンを指定した時間に開始するか、指定した開始時間および終了時間の間でランダムに開始するかを選択します。
- 5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。
- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新された時、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でスキャンを実行するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

3 (オプション) 更新後の一定期間スキャンを遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分で指定します。

4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [曜日] を選択します。

曜日
 *

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

3 スキャンを実行する曜日を選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

曜日

*

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:20)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月スキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [月] を選択します。

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

3 [日付] を選択し 1 ~ 31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、繰り返しスキャンを行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。

7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。

8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。

9 [適用] または [OK] をクリックします。

一定の間隔でスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:
 繰り返し

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

- それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。
- カレンダーアイコンをクリックして日付を選択して、開始日付を指定します。
- [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。
- [詳細オプション] をクリックします。

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 7 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を次の日付範囲に限定] を選択し、終了日付および終了時刻を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。

スケジュールタイプ:

イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

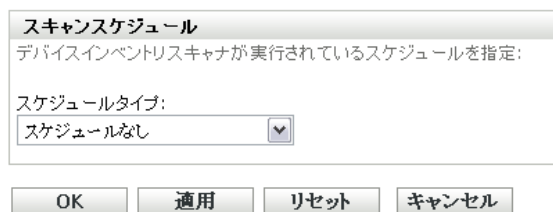
- 2 動作を選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks - ログイン
 - ◆ ZENworks - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。
選択したイベントに続いてスキャンが行われます。

2.2.3 デバイスに対するインベントリスキャンスケジュールの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 インベントリスキャンスケジュールを設定したいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 3 デバイスをクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックします。
- 5 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 6 [設定] リストで、[インベントリスケジュール] をクリックします。
- 7 [インベントリスケジュール] パネルで、[設定の上書き] をクリックします。
このデバイスの管理ゾーンおよびフォルダ設定が上書きされます。
- 8 [スケジュールタイプ] フィールドで、使用するスケジュールの種類を選択します。
スケジュールなし : スキャンがスケジュールされていません。詳細については、[43 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。
特定の日付 : スキャンが特定の日に実行されます。詳細については、[43 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。
繰り返し : スキャンが繰り返しのスケジュールで実行されます。詳細については、[44 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。
イベント : スキャンがイベントによってトリガされます。詳細については、[51 ページの「イベント」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。



スキャンスケジュール
デバイスインベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:
スケジュールなし

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [適用] または [OK] をクリックします。
自動スキャンは設定されません。

特定の日付

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

開始日: *

毎年イベントを実行
 デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:
 開始時刻にすぐに実行
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: : 終了時刻: :

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:10)

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。
- 3 (オプション) [毎年イベントを実行] を選択し、毎年選択した日付にスキャンを実行します。
- 4 スキャンを指定した時間に開始するか、指定した開始時間および終了時間の間でランダムに開始するかを選択します。
- 5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。
- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新された時、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でスキャンを実行するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

3 (オプション) 更新後の一定期間スキャンを遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分で指定します。

4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [曜日] を選択します。

曜日
 *

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

3 スキャンを実行する曜日を選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

曜日

*

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:20)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。

7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。

8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。

9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月スキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [月] を選択します。

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

3 [日付] を選択し 1～31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、繰り返しスキャンを行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

月

日付: 1

月の最終日

最初 [日曜日]

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。

7 (オプション) スキャンが指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに実行されるようにするには、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択し、終了時刻を指定します。

8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。

9 [適用] または [OK] をクリックします。

一定の間隔でスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スキャンスケジュール
 デバイスイベントリスキャナが実行されているスケジュールを指定:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

- 3 それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。
- 4 カレンダーアイコンをクリックして日付を選択して、開始日付を指定します。
- 5 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。
- 6 [詳細オプション] をクリックします。

● 固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 7 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 8 (オプション) スキャンを特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を次の日付範囲に限定] を選択し、終了日付および終了時刻を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。

スケジュールタイプ:

イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

- 2 動作を選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks - ログイン
 - ◆ ZENworks - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。
選択したイベントに続いてスキャンが行われます。

2.3 インベントリスキャンの実行

スキャンは次の4つの方法で実行できます。

- ◆ クイックタスクデバイスの使用
- ◆ デバイスタスクの使用
- ◆ ZENworks アイコンメニューの使用 (この場合、ローカルマシンのスキャンのみ実行されます)
- ◆ スケジュールの使用

クイックタスクを使用してインベントリスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 目的のデバイスのあるフォルダをクリックし、インベントリするデバイスを1つ以上選択します。
- 3 [クイックタスク] > [インベントリスキャン] の順にクリックします。

デバイス > サーバ



[クイックタスクステータス] ダイアログボックスが表示され、スキャンの進行状況が示されます。

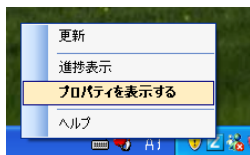
デバイスタスクを使用してインベントリスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 目的のデバイスがあるフォルダを開いてデバイスをクリックします。
- 3 デバイスタスクパネルで、サーバの場合は [サーバインベントリスキャン] をクリックし、ワークステーションの場合は [ワークステーションインベントリスキャン] をクリックします。

ZENWorks アイコンメニューを使用してインベントリスキャンを実行するには、次の手順に従います。

注: この機能は、[ユーザはスキャンを開始することができます] オプションが [インベントリ環境設定] ページ上で選択されている場合にのみ使用できます。詳細については、[13 ページのセクション 2.1 「インベントリスキャンの設定」](#) を参照してください。

- 1 ZENworks アイコンを右クリックして [プロパティを表示する] を選択します。



2 [インベントリ] をクリックします。



3 [今からスキャンします] をクリックします。

4 (オプション) [ページ更新] をクリックしてスキャン時間を更新します。

スケジュールを使用してインベントリスキャンを実行するには、[25 ページのセクション 2.2 「インベントリスキャンのスケジュール」](#)を参照してください。

2.4 管理対象デバイスのインベントリレポートの表示

デバイスのインベントリには、インベントリスキャンで収集されたハードウェア、ソフトウェア、および人口統計データに関する情報が含まれています。このレポートは、ZENworks コントロールセンターを使用するか、ZENworks アイコンメニューを使用して表示できます。

ZENworks コントロールセンターを使用して管理対象デバイスのインベントリを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [管理対象] タブをクリックします。
- 3 インベントリを表示したいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 4 目的のデバイスをクリックします。
- 5 [インベントリ] タブをクリックします。

概要パネルには基本的なインベントリ情報が表示されます。

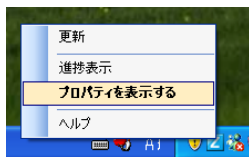
概要	インベントリ	関係	設定	コンテンツ	統計情報	バッチ
概要						
最後にスキャンした日付: 5/14						
ホスト名: ZENDOC1A						
IPアドレス:						
位置:						
ハードウェア/ソフトウェアのインベントリの詳細						
ハードウェア:						
製品タグ:						
シリアル番号:						
システム: Dell OptiPlex GX270						
オペレーティングシステム: Microsoft Windows Server 2003 5.2.2.3790						
MACアドレス: 000D561292D9						
合計メモリ: 3 GB						
ハードディスク空き容量: 62.16 GB						
ハードディスク合計容量: 80.02 GB						

- 6 完全なインベントリレポートを表示するには、[ハードウェア/ソフトウェアのインベントリの詳細] をクリックします。

このレポートは、人口統計データ、ハードウェア情報、およびソフトウェア情報を含むデバイスに関する詳細情報を表示します。このページでは、詳細な情報を得るためのさまざまなリンクをクリックできます。レポートは、Excel*、CSV、またはPDF形式にエクスポートできます。選択したデータを編集することもできます。詳細については、55 ページのセクション 2.5 「管理対象デバイスのインベントリデータの編集」を参照してください。

ZENworks アイコンメニューを使用して管理対象デバイスのインベントリを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks アイコンを右クリックして [プロパティを表示する] を選択します。



- 2 [インベントリ] をクリックします。

ZENworks Adaptive Agent
Novell® ZENworks®
次でログイン: ログインしていません

[ページ更新] [ヘルプ]

ステータス
ポリシー
バンドル
インベントリ
リモート管理
一般
ポリシー
セキュリティ
ログ

スキャンスケジュール
スケジュールタイプ: 月
実行日: 月の 1st
開始時刻: 01:00:00
終了時刻: 23:59:59
開始時間および終了時間の間でランダムに実行: False

今からスキャンします ([ページ更新] をクリックして、スキャン回数を更新します)。

次のスキャン: 2008/10/01 1:00:00
前回のスキャン: 2008/09/05 17:34:30
前回のアップロード: 2008/09/05 17:38:52

インベントリサマリ
システム: Athlon 2499 System
オペレーティングシステム: Microsoft Windows XP Professional 5.1
MACアドレス: 000C299AFD6F
シリアル番号:
製品タグ: No Asset Tag
空きディスク容量: 0 GB
合計ディスク容量: 8 GB
メモリ: 512 MB

[インベントリの詳細を表示](#)

3 [インベントリの詳細を表示] をクリックします。

ワークステーション詳細レポート	ロケーション	IPアドレス	MACアドレス	LANポート
172.22.1.44	172.22.1.44	00191900CE19		
システム番号	製品タイプ	メーカー(名称)	デバイス(名称)	資産デバイス(名称)
666C11	3072		01157	7610

ハードウェア	製品名	モデル	資産
Intel Corporation	SATA Controller (DH)	83011EB	
Intel Corporation	IDE Controller (DH)	82011EB	
Phoenix	BIOS		システムBIOS
Yottorip	OS/OSW 3M1912A		OS/OSW
Intel	PartNum 4	with HT Technology	製造者ID
Intel	410010		製造者ID
Western	OS/OSW Drive		OS/OSW
Intel	1011152 keyboard		
Intel	PRO1000 MT Desktop Adapter		LANポート
Logitech	Mouse		
	Memory module		メモリー
	Memory module		メモリー
	Memory module		メモリー
	Memory module		メモリー
Dell	OS/OSW		メモリー
Microsoft	Windows 7 Professional	5.1	
	Parallel Port		
	Printer		
	Serial Port		

2.5 管理対象デバイスのインベントリデータの編集

- 53 ページのセクション 2.4 「管理対象デバイスのインベントリレポートの表示」 で示す手順に従って、詳細なハードウェア/ソフトウェアインベントリレポートを開きます。
- [編集] をクリックします。

ワークステーションの編集
ZENDOC1A

ユーザ

名	<input type="text"/>	電子メール	<input type="text"/>
ミドルネーム	<input type="text"/>	電話	<input type="text"/>
姓	<input type="text"/>	2つ目の電話	<input type="text"/>
		ファックス	<input type="text"/>

参照

インベントリタイプ	デバイス	シリアル番号	<input type="text"/>
		製品タグ	No Asset Tag

ワークステーション

サイト	<input type="text"/>	リース	いいえ
部署	<input type="text"/>	リース期限日	27/6/07
コストセンター	<input type="text"/>	リース契約ID	<input type="text"/>
作成しています	<input type="text"/>		
フロア	<input type="text"/>		
ルーム	<input type="text"/>		
電話	<input type="text"/>		
ret	<input type="text"/>		

送信 キャンセル

- [ワークステーションの編集] ページで情報の追加または編集を行います。
ユーザ: 名前、電話番号などを含む、ユーザに関する基本情報です。
リファレンス: インベントリタイプ、シリアル番号、およびアセットタグ。これらの値は変更できません。
ワークステーション: サイト、部署などを含む、ワークステーションに関する基本情報です。右側のアイコンをクリックし、応答のリストを作成します。[リース期限日] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックし、日付を選択します。
- [送信] をクリックします。
 データがインベントリレポートに追加されます。

インベントリのためのデバイスのスキャン

インベントリのためのスキャンでは、ZENworks® Adaptive Agent はインストールされていないが、Inventory Only モジュールはインストールされているゾーン内のデバイスをスキャンできます。Inventory Only モジュールのインストールについては、『ZENworks 10 検出、展開、リタイアリファレンス』を参照してください。

次のセクションでは、インベントリのためのスキャンについて説明します。

- ◆ 57 ページのセクション 3.1 「インベントリのためのスキャンの設定」
- ◆ 61 ページのセクション 3.2 「インベントリのためのスキャンのスケジュール」
- ◆ 64 ページのセクション 3.3 「インベントリのためのデバイス向けのインベントリレポートの表示」
- ◆ 65 ページのセクション 3.4 「インベントリのみデバイスの人口統計データの編集」
- ◆ 66 ページのセクション 3.5 「調整の有効化」
- ◆ 67 ページのセクション 3.6 「ポータブルコレクタの使用」

3.1 インベントリのためのスキャンの設定

インベントリのためのスキャンでは、Inventory Only モジュールのみがインストールされている管理ゾーン内のデバイスからデータを収集できます。デフォルトでは、インベントリ設定は事前に行われています。

インベントリのためのスキャンを設定するには、次の手順に従います。

- 1 [設定] をクリックし、[管理ゾーン設定] パネルで [インベントリ] をクリックします。
- 2 カテゴリリストで [インベントリのみ] をクリックします。
- 3 [サーバの更新間隔] パネルで、間隔を日数、時間、分で設定します。



サーバは、Inventory Only モジュールがインストールされているデバイスからの要求を処理し、設定、スキャンスケジュールなどのファイルを提供します。間隔の設定は、サーバが次のスキャンのスケジュールを評価する頻度、および他の設定を取得する時期を決定します。サーバは、デバイスに影響を与える変更を送信するために、頻繁にデータベースにポーリングする必要があります。

更新間隔は、更新がスキャンよりも頻繁に行われるように設定する必要があります。デフォルトは 15 分です。

注: コレクションサーバからプライマリサーバへのデータ送信間隔が、必ず、管理対象デバイスからコレクションサーバへのデータ送信間隔より短くなるように設定してください。たとえば、管理対象デバイス M1 がコレクションサーバに 12 分ごとにデータを送信する場合は、コレクションサーバからプライマリサーバに 8 分ごとにデータが送信されるように、コレクションサーバを設定します。

- 4 [デバイスの更新間隔] パネルで、間隔を日数、時間、分数で設定します。



デバイスの更新間隔は、設定の変更、次のスキャンのスケジュール、インベントリ用の ZENworks ナレッジベースファイル、および新規のエージェント実行プログラムについて、デバイスがサーバをチェックする時期を決定します。

更新間隔は、更新がスキャンよりも頻繁に行われ、サーバの更新よりは頻繁に行われないように設定する必要があります。デフォルトは 12 時間です。

- 5 [スキャン] パネルで、スキャンの実行方法を設定します。



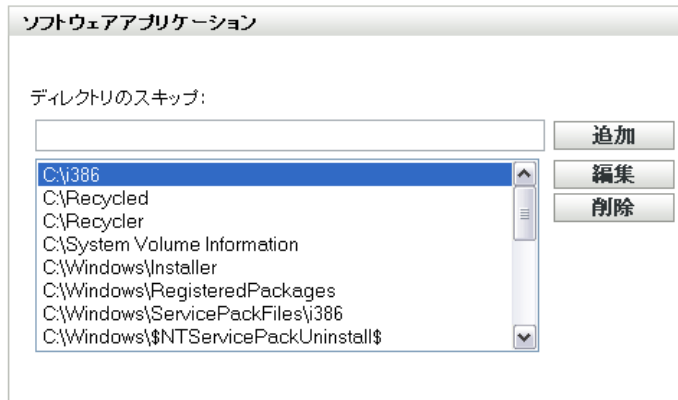
ソフトウェアアプリケーションの収集: デバイスにインストールされているソフトウェアアプリケーションをスキャンする場合は、このオプションを選択します。デフォルトでは、この設定が選択されます。

ソフトウェアファイル情報の収集: ZENworks ナレッジベースによって認識されないソフトウェア製品の識別に使用できるソフトウェアファイル情報をスキャンする場合は、このオプションを選択します。ローカルソフトウェア製品を作成し、それをナレッジベースに追加する予定の場合は、このオプションを選択する必要があります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

人口統計データの収集: インベントリのみデバイスから人口統計データを収集するには、このオプションを選択します。このデータは、ローカルマシンのファイルから収集されます。詳細については、104 ページのセクション 4.6「インベントリのみデバイスの人口統計データのスキャン」を参照してください。

DMTF トランスレータの実行: DMTF (Desktop Management Task Force) トランスレータを実行したい場合は、このオプションを選択します。DMTF トランスレータは、インベントリデータを他のツールで使用できるフォーマットに変換して、ローカルマシンに配置します。

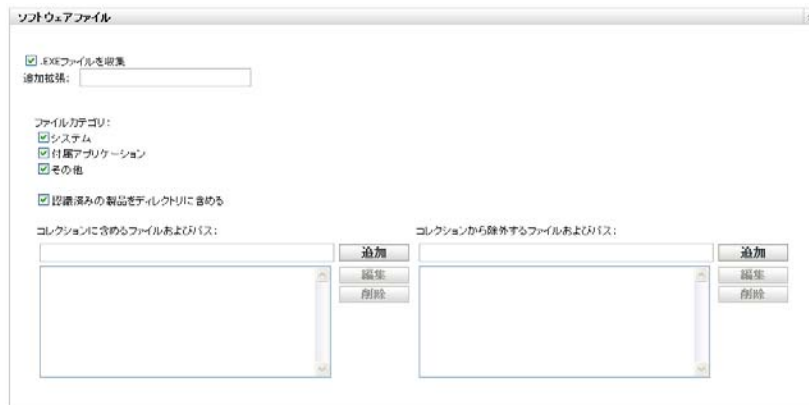
- 6 [ソフトウェアアプリケーション] パネルで、スキップするディレクトリを設定します。



ディレクトリのスキップは、スキヤンの範囲を制限するのに役立ちます。リストに含まれるディレクトリはスキップされます。

- ディレクトリを追加するには、[ディレクトリのスキップ] フィールドでディレクトリを指定し、[追加] をクリックします。
- 既存のディレクトリを編集するには、ディレクトリを選択し、[編集] をクリックして、ディレクトリを編集し、[OK] をクリックします。
- 既存のディレクトリを削除するには、ディレクトリを選択し、[削除] をクリックします。

7 [ソフトウェアファイル] パネルで、スキヤンするファイルタイプを設定します。



インベントリスキヤンで検出されたソフトウェアアプリケーションは、その製品に関連付けられている特定のファイルで識別されます。これらの識別情報は、ZENworks ナレッジベースに保存されます。ナレッジベースにない製品を識別するために、未確認の製品に関連付けられているファイルを検索し、そのファイル情報を使用してローカルソフトウェア製品と呼ばれる新しい製品識別情報を作成することができます。このローカルソフトウェア製品情報は、ナレッジベースとマージすることができるので、後続のスキヤンではこれらの新しい製品が認識されるようになります。詳細については、115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。ファイルタイプを設定するには、次のステップを実行します。

- .exe 拡張子付きのファイルを検索するには、[EXE ファイルを集める] オプションを選択します。

- ◆ その他の拡張子付きのファイルを検索するには、[追加拡張] フィールドに拡張子を指定します。拡張子ごとに + 記号を使用して区切ります。たとえば、com+dll などです。
- ◆ 特定のファイルタイプをスキャンするには、次の中から選択します。
 - ◆ システム：システムファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ 付属アプリケーション：ZENworks ナレッジベースによって認識される製品の付属する、または関連付けられているファイルを検索するには、このオプションを選択します。このオプションは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
 - ◆ その他：他のすべてのファイルを検索するには、このオプションを選択します。デフォルトではこのカテゴリが選択されます。
- ◆ ZENworks ナレッジベースが認識する製品を持つディレクトリを含めるには、[認識済みの製品をディレクトリに含める] を選択します。これは、包括的なスキャンを作成するのに便利です。
- ◆ ファイルおよびパスを含めるか、または除外してスキャン範囲を制限するには、[追加] および [削除] を使用して、コレクションのどのファイルおよびパスを含めるか、または除外するのを設定し、スキャンに含めるか、除外するファイルおよびパスを指定します。ファイルまたはパスを選択して [編集] をクリックすることで、リスト内のファイルとパスを編集できます。[コレクションに含めるファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを入力すると、そのファイルまたはパスに限定してスキャンが行われます。[コレクションから除外するファイルおよびパス] フィールドにファイルまたはパスを指定すると、指定したファイルまたはパス以外のすべてのファイルとパスが検索されます。[ソフトウェアアプリケーション] パネルで指定したパスもスキップされます。

注：パスを指定する場合は、末尾にバックスラッシュ (\) をインクルードする必要があります。たとえば、すべての .exe ファイルを dir ディレクトリにインクルードする場合は、C:\dir\ と入力します。

8 [詳細] パネルで、診断の設定を行います。



警告：これらのオプションは高度な診断用です。使用する場合は、Novell サポート担当者の指示に従ってください。

9 [コレクションサーバ] パネルで、[上へ移動] および [下へ移動] ボタンを使用して、コレクションサーバを配列します。



この配列により、コレクションサーバがインベントリデータを受け取る順番が決まります。

- 10 [適用] または [OK] をクリックします。

3.2 インベントリのみスキャンのスケジュール

このセクションでは、インベントリのみデバイスに対するインベントリスキャンのスケジュール方法について説明します。デフォルトでは、インベントリスケジュールは設定済みです。

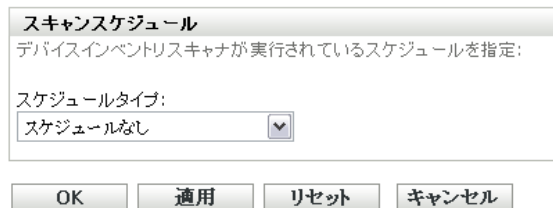
管理デバイスのスキャンとは異なり、インベントリのみスキャンは管理ゾーン全体に対してのみ定義できます。さらに、スキャンはスケジュールを使用してのみ実行できます。

3.2.1 インベントリのみスキャンスケジュールを設定する

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[管理ゾーン設定] パネルで [インベントリ] をクリックします。
- 2 カテゴリリストの中で [インベントリのみスケジュール] をクリックします。
- 3 [スケジュールタイプ] フィールドで、使用するスケジュールのタイプを選択します。
スケジュールなし: スキャンがスケジュールされていません。詳細については、[61 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。
特定の日付: スキャンが特定の日に実行されます。詳細については、[61 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。
繰り返し: スキャンが繰り返しのスケジュールで実行されます。詳細については、[62 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。



- 2 [適用] または [OK] をクリックします。
自動スキャンは設定されません。

特定の日付

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。

スケジュールタイプ:

開始日: *

開始時刻: 1 : 00

- 2 [開始日] フィールドの右側にある+アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、-アイコンをクリックします。
- 3 開始時間を指定します。
- 4 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新された時、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でスキャンを実行するかどうかを選択します。

特定の曜日にスキャンを実行するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スケジュールタイプ:

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00

- 2 [曜日] を選択します。

曜日
 *

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

- 3 スキャンを実行する曜日を選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月スキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スケジュールタイプ:
繰り返し

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00

2 [月] を選択します。

月

日付: 1

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

3 [日付] を選択し 1～31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、繰り返しスキャンを行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。

5 [適用] または [OK] をクリックします。

一定の間隔でスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

スケジュールタイプ:
繰り越し

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

月

日付: 1

月の最終日

最初: 日曜日

開始時刻: 1 : 00

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔

0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分

開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00

- それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。
- カレンダーアイコンをクリックして日付を選択して、開始日付を指定します。
- [開始時刻] フィールドで、スキャンを開始する時刻を指定します。
- [適用] または [OK] をクリックします。

注: コレクションサテライトサーバを管理ゾーンで設定する場合は、[収集ロールアップスケジュール] をスキャン間隔より頻繁にしてください。

3.3 インベントリのみのデバイス向けのインベントリレポートの表示

デバイスのインベントリには、インベントリスキャンで収集されたハードウェア、ソフトウェア、および人口統計データに関する情報が含まれています。

インベントリのみのデバイスのインベントリを表示するには、次の手順に従います。

- ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
 - [インベントリ済み] タブをクリックします。
 - インベントリを表示したいデバイスを含むフォルダをクリックします。
 - 目的のデバイスをクリックします。
- [インベントリ] パネルには基本的なインベントリ情報が表示されます。

インベントリ済みデバイス > ワークステーション > ZENDOCWKS1

インベントリ	
最後にスキャンした日付: 9 9	
ホスト名:	ZENDOCWKS1
部署:	
位置:	
ハードウェア/ソフトウェアのインベントリの詳細	
ハードウェア:	
備品タグ:	No Asset Tag
シリアル番号:	
システム:	Pentium D 3200 System
オペレーティングシステム:	Microsoft Windows XP Professional 5.1 2 2600
MACアドレス:	000C292D1B1E
合計メモリ:	256 MB
ハードディスク空き容量:	4.47 GB
ハードディスク合計容量:	8.59 GB

- 5 完全なインベントリレポートを表示するには、[ハードウェア/ソフトウェアのインベントリの詳細] をクリックします。

このレポートは、人口統計データ、ハードウェア情報、およびソフトウェア情報を含むデバイスに関する詳細情報を表示します。このページでは、詳細な情報を得るためのさまざまなリンクをクリックできます。レポートは、Excel、CSV、PDF 形式にエクスポートできます。人口統計データを編集することもできます。詳細については、[55 ページのセクション 2.5 「管理対象デバイスのインベントリデータの編集」](#) を参照してください。

3.4 インベントリのみデバイスの人口統計データの編集

レポート内に人口統計データを追加するには、次の手順に従います。

- 1 [53 ページのセクション 2.4 「管理対象デバイスのインベントリレポートの表示」](#) で示す手順に従って、詳細なハードウェア/ソフトウェアインベントリレポートを開きます。
- 2 [編集] をクリックします。

ワークステーションの編集
ZENDOC1A
ユーザ

名	<input type="text"/>	電子メール	<input type="text"/>
ミドルネーム	<input type="text"/>	電話	<input type="text"/>
姓	<input type="text"/>	2つ目の電話	<input type="text"/>
		ファックス	<input type="text"/>

参照

インベントリタイプ	デバイス	シリアル番号	<input type="text"/>
		備品タグ	No Asset Tag

ワークステーション

サイト	<input type="text"/>	リース	いいえ
部署	<input type="text"/>	リース期限日	27/6/07
コストセンター	<input type="text"/>	リース契約ID	<input type="text"/>
作成しています	<input type="text"/>		
フロア	<input type="text"/>		
ルーム	<input type="text"/>		
電話	<input type="text"/>		
ret	<input type="text"/>		

- 3 [ワークステーションの編集] ページで情報の追加または編集を行います。

ユーザ: 名前、電話番号などを含む、ユーザに関する基本情報です。

リファレンス: インベントリタイプ、シリアル番号、およびアセットタグ。これらの値は変更できません。

ワークステーション: サイト、部署などを含む、ワークステーションに関する基本情報です。右側のアイコンをクリックし、応答のリストを作成します。[リース期限日] フィールドの横にあるカレンダーアイコンをクリックし、日付を選択します。

4 [送信] をクリックします。

データがインベントリレポートに追加されます。

3.5 調整の有効化

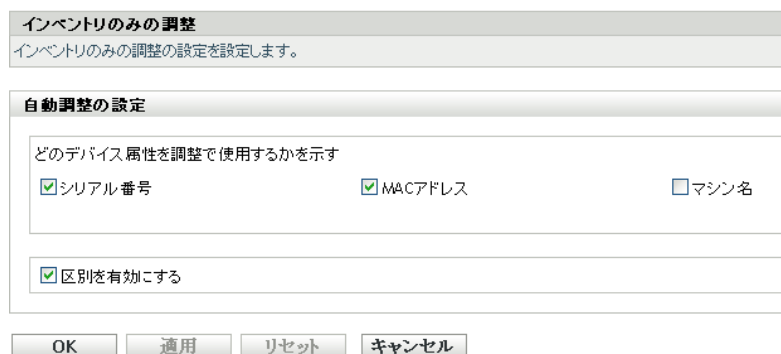
[インベントリのみの調整] ページでは、データベース内での重複の可能性を避けるために新規ワークステーションを調整するかどうか、およびその方法を制御できます。管理ゾーンに対して新規のワークステーションのスキャンが行われると、ワークステーションに識別子が割り当てられます。ディスク破損などによって識別子が失われた場合は、次のスキャン時に新しい識別子が割り当てられます。調整を使用すると、ワークステーションが既にデータベースに含まれているかどうかを確認できます。含まれる場合は、データベース内の識別子が新しい識別子に一致するように変更されます。

次のデバイス属性のいずれかまたはすべてを使用して、ワークステーションの可能な調整方法を特定できます。

- ◆ シリアル番号
- ◆ MAC アドレス
- ◆ マシン名

インベントリのみの調整を有効化するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーン設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [カテゴリ] リストの中で、[インベントリのみの調整] をクリックします。



- 4 [自動調整設定] パネルで、調整に使用するデバイス属性を選択します。
 - ◆ シリアル番号
 - ◆ MAC アドレス
 - ◆ マシン名

- 5 [区別を有効にする] を選択し、同じ識別子を持つワークステーション間を区別します。
- 6 [適用] または [OK] をクリックします。

3.6 ポータブルコレクタの使用

ポータブルコレクタは、ZENworks Adaptive Agent がインストールされていないサーバまたはデバイスに接続されていないデバイスをインベントリするために使用されるスタンドアロンアプリケーションです。このデータは、その後インベントリ済みデバイスリストにインポートできます。データがインポートされると、インベントリ済みデバイスと同様にそれを表示したり編集したりできます。ポータブルコレクタは Windows および OSX デバイス上で実行できます。手順は次のとおりです。

1. ポータブルコレクタを作成します。
2. デバイス上でポータブルコレクタを実行します。
3. インベントリデータをポータブルメディアにコピーします。
4. インベントリデータを ZENworks コントロールセンターにアップロードします。

詳細については、次を参照してください。

- ◆ [67 ページのセクション 3.6.1 「Windows デバイス用のポータブルコレクタの作成」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 3.6.2 「Windows デバイス上でのポータブルコレクタの実行」](#)
- ◆ [68 ページのセクション 3.6.3 「ポータブルコレクタを OSX デバイス上で実行する」](#)
- ◆ [68 ページのセクション 3.6.4 「ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート」](#)

3.6.1 Windows デバイス用のポータブルコレクタの作成

- 1 インベントリのみをスキャンを設定します。

ポータブルコレクタを作成する際に、インベントリのみをスキャンの設定が使用されます。たとえば、ポータブルコレクタにソフトウェアファイルをスキャンさせる場合、そのオプションを [インベントリのみ設定] ページで選択する必要があります。インベントリのみをスキャンの設定については、[57 ページのセクション 3.1 「インベントリのみをスキャンの設定」](#) を参照してください。
- 2 [デバイス] をクリックします。
- 3 [デバイスタスク] リストで、[ポータブルクライアントの作成] をクリックします。
- 4 ファイルをディスクに保存します。
- 5 ファイルを圧縮解除し、[67 ページのセクション 3.6.2 「Windows デバイス上でのポータブルコレクタの実行」](#) に進みます。

3.6.2 Windows デバイス上でのポータブルコレクタの実行

- 1 [67 ページのセクション 3.6.1 「Windows デバイス用のポータブルコレクタの作成」](#) に示されているようにポータブルコレクタを作成します。
- 2 ポータブルコレクタファイルを CD またはフラッシュドライブなどのリムーバブルメディアにコピーします。

- 3 ポータブルコレクタをインベントリするデバイスにセットして collect.bat を実行します。
利用可能スイッチを表示するには、コマンドラインで /? を入力します。
- 4 インベントリデータファイルをリムーバブルメディアにコピーして、ZENworks コントロールセンターに接続されているデバイスにセットします。
- 5 68 ページのセクション 3.6.4 「ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート」に進みます。

3.6.3 ポータブルコレクタを OSX デバイス上で実行する

- 1 https://ZENworks_Server_ID/zenworks-setup/ (ここで ZENworks_Server_ID は、プライマリサーバの DNS 名または IP アドレスです) へ移動します。
- 2 [インベントリツール] をクリックします。
- 3 [osxportable.dmg] をクリックしてデスクトップへダウンロードします。
- 4 osxportable.dmg を解凍します。
- 5 ポータブルスキャンを実行する一時フォルダを作成します。
- 6 osxportable の内容 (/Volumes/osxportable 内にあります) を一時フォルダにコピーします。
- 7 osxportable イメージを終了 (イジェクト) します。
- 8 ターミナルウィンドウを開きます。
管理者権限を持っている必要があります。
- 9 `sudo ./zenumia-portable /full/path/to/output/directory` を実行します。
WIF ファイル (<xxx>.xml) がそこに書き込まれます。このファイルにはデバイスのインベントリデータが含まれます。出力ディレクトリは Windows デバイスでアクセス可能にすると便利です。あるいは、ファイルをコピーして ZENworks コントロールセンターに接続されているデバイスに配置することもできます。
- 10 スキャンが完了したら、ステップ 5 で作成した一時ディレクトリとステップ 3 でダウンロードした osxportable.dmg ファイルを削除します。
- 11 68 ページのセクション 3.6.4 「ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート」に示されているようにファイルを ZENworks コントロールセンターにインポートします。
- 12 インベントリデータファイルを削除します。

3.6.4 ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [デバイスタスク] リストで、[インベントリのインポート] をクリックします。
- 3 [インベントリスキャンファイルのファイルパス] フィールドで、インベントリ済みのデータのファイル名を指定するか、[参照] をクリックして検索します。
- 4 (オプション) デバイスを登録する場合は、[すでに登録されていない場合デバイスを登録する] を選択して、次のフィールドに入力します。
登録キー : 登録キーを指定するか、[参照] をクリックして検索します。
ポート : ポートを指定します。デフォルトは 2544 です。この値は必須です。
デバイスの種類 : デバイスの種類 (サーバまたはワークステーション) を選択します。

言語: 言語コードを指定します。デフォルトでは、[英語] が選択されています。

5 [OK] をクリックします。

インベントリデバイスが、[デバイス] > [インベントリ] の順にクリックして表示されるデバイスリストに表示されます。このリストで、デバイス名をクリックしてインベントリデータを確認できます。

人口統計データのスキャン

インベントリスキャンには、コレクションデータフォームを使用してワークステーションユーザから収集された人口統計データが含まれます。コレクションデータフォームは、ワークステーションユーザのコンピュータに送付され、フォーム上のデータフィールドへの入力を求めることができます。このデータは、その後そのワークステーションのインベントリレポートに追加されます。このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ◆ 71 ページのセクション 4.1 「コレクションデータフォームの設定」
- ◆ 77 ページのセクション 4.2 「コレクションデータフォームの展開」
- ◆ 78 ページのセクション 4.3 「コレクションデータフォームの展開スケジュール」
- ◆ 102 ページのセクション 4.4 「クイックタスクを使用したデータコレクションフォームの展開」
- ◆ 103 ページのセクション 4.5 「デバイスタスクを使用したデータコレクションフォームの展開」
- ◆ 104 ページのセクション 4.6 「インベントリのみデバイスの人口統計データのスキャン」

4.1 コレクションデータフォームの設定

コレクションデータフォームを設定すると、ワークステーションユーザから収集する情報の種類を選択することになります。コレクションデータフォームは、デフォルトでは設定されていません。展開するには、その前に設定する必要があります。

コレクションデータフォームは次の3つのレベルで定義できます。

- ◆ **管理ゾーン**：設定はすべてのデバイスフォルダおよびデバイスに継承されます。管理ゾーン用にコレクションデータフォームを設定するには、72 ページのセクション 4.1.1 「管理ゾーン」を参照してください。
- ◆ **デバイスフォルダ**：設定はフォルダ内に含まれるすべてのデバイスによって継承されます。管理ゾーンレベルで設定を上書きします。フォルダ用にコレクションデータフォームを設定するには、73 ページのセクション 4.1.2 「フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの設定」を参照してください。
- ◆ **デバイス**：この設定は、それが設定されたデバイスにのみ適用されます。フォルダおよび管理ゾーンレベルで設定を上書きします。デバイスレベルでコレクションデータフォームを設定するには、75 ページのセクション 4.1.3 「デバイス向けのコレクションデータフォームの設定」を参照してください。

注：デバイスに対してコレクションデータフォームを設定する場合に、システム設定を変更できるようにするには [設定の上書き] をクリックします。

コレクションデータフォームの設定および展開が行われると、このフォームが管理デバイスのデスクトップに表示され、事前に定義された質問のリストに答えるようにワークステーションのユーザにプロンプトが表示されます。

詳細については、次の項目を参照してください。

- ◆ 72 ページのセクション 4.1.1 「管理ゾーン」
- ◆ 73 ページのセクション 4.1.2 「フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの設定」
- ◆ 75 ページのセクション 4.1.3 「デバイス向けのコレクションデータフォームの設定」

4.1.1 管理ゾーン

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーン設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [カテゴリ] リストで、[コレクションデータフォーム] をクリックします。

ラベル名	タイプ	表示	編集可能	必須	オートフィル	デフォルト	選択リスト	マスクの編集	指示
モデルネーム	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
姓	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
電子メール	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
2つ目の電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
ファックス	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ				
サイト	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ		<input type="checkbox"/> [編集]		
部署	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ		<input type="checkbox"/> [編集]		
コストセンター	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ		<input type="checkbox"/> [編集]		
作成しています	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ヘルプ		<input type="checkbox"/> [編集]		

- 4 [導入テキスト] フィールドで、ワークステーションユーザ用にわかりやすいテキストを指定します。
- 5 (オプション) コレクションデータフォームをワークステーションユーザが常に使用できるようにする場合は、[ZENworks アイコンメニューに表示する] を選択します。これで、ワークステーションユーザが ZENworks アイコンを使用してフォームを開き、必要に応じて編集することができます。
- 6 (オプション) ワークステーションユーザがプロセスから抜けられるようにする場合は、[フォームにキャンセルボタンを表示する] を選択します。
- 7 (オプション) フォームにオートフィルデータを入力するには、[オートフィル専用非表示モード] を選択します。フォームはワークステーションユーザに対して非表示になります。
- 8 収集するデータを選択し、ワークステーションユーザの応答方法を設定します。
ラベル: たとえば、名のように、収集しているデータの名前を表示します。

データタイプ: 文字、整数、小数、または日付のデータタイプを指定します。

表示: ワークステーションユーザに送信されたコレクションデータフォーム上の特定フィールドを表示します。

編集可能: デフォルト値を強制的に使用するのではなく、指定のフィールドにユーザが応答を入力または編集できるようにします。

必須: 応答を必須にします。フィールドが必須の場合、ワークステーションユーザは必須のデータを入力するまで、フォームを送信できません。

オートフィル: オートフィルがオンかオフかを表示します。[オートフィル] ダイアログボックスを開くには、[いいえ] (または状況に応じて [はい]) をクリックします。このダイアログボックスでは、レジストリキーまたは環境変数を指定して、[コレクションデータフォーム] フィールドで、レジストリキーには HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Eventlog\ComputerName、環境変数には WinDir などレジストリキーまたは環境変数が指すデータが入力されるようにします。

デフォルト: デフォルト値として使用する値を指定します。

選択リスト: 応答が複数ある場合は、[編集] をクリックし、使用可能な応答を指定します。[ユーザ作成のエントリを許可する] を選択して、ワークステーションユーザにエントリの作成を許可することもできます。

マスクの編集: [マスクの編集] フィールドの中のリストからフォーマットを選ぶことにより、ユーザの応答入力方法を制限できます。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。

指示: ワークステーションユーザに対する指示を追加します。

- 9 [適用] または [OK] をクリックするか、[リセット] をクリックして前の設定に戻します。

注: 管理者定義フィールドと呼ばれる、カスタムフィールドを作成して追加のデータを収集することもできます。詳細については、[125 ページの第 7 章「管理者が定義したフィールドの使用」](#)を参照してください。

4.1.2 フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [デバイス] パネルで設定したいデバイスがあるフォルダの隣にある [詳細] をクリックします。
- 3 [設定] タブをクリックします。
- 4 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 5 [カテゴリ] パネルで、[コレクションデータフォーム] をクリックします。

ラベル名	タイプ	表示	編集可能	必須	オートフィル	デフォルト	選択リスト	マスクの編集	指示
モデルネーム	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
姓	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
電子メール	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
2つ目の電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
ファックス	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
サイト	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
部署	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
コストセンター	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
作成しています	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		

- 6 [設定の上書き] をクリックします。
これらのデバイスの管理ゾーン設定が上書きされます。
- 7 [導入テキスト] フィールドで、ワークステーションユーザ用にわかりやすいテキストを指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームをワークステーションユーザが常に使用できるようにする場合は、[ZENworks アイコンメニューに表示する] を選択します。
これで、ワークステーションユーザが ZENworks アイコンを使用してフォームを開き、必要に応じて編集することができます。
- 9 (オプション) ワークステーションユーザがプロセスから抜けられるようにする場合は、[フォームにキャンセルボタンを表示する] を選択します。
- 10 (オプション) フォームにオートフィルデータを入力するには、[オートフィル専用非表示モード] を選択します。フォームはワークステーションユーザに対して非表示になります。
- 11 収集するデータを選択し、ワークステーションユーザの応答方法を設定します。
ラベル: たとえば名のように、収集しているデータの名前を表示します。
データタイプ: 文字、整数、小数、または日付のデータタイプを指定します。
表示: ワークステーションユーザに送信されたコレクションデータフォーム上の特定フィールドを表示します。
編集可能: デフォルト値を強制的に使用するのではなく、指定のフィールドにユーザが応答を入力または編集できるようにします。
必須: 応答を必須にします。フィールドが必須の場合、ワークステーションユーザは必須のデータを入力するまで、フォームを送信できません。

オートフィル: オートフィルがオンかオフかを表示します。[オートフィル] ダイアログボックスを開くには、[いいえ] をクリックします。このダイアログボックスでは、レジストリキーや環境変数を指定して、[コレクションデータフォーム] フィールドに HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Eventlog\ComputerName のような、レジストリキーまたは環境変数がポイントしているデータを入力できます。

デフォルト: デフォルト値として使用する値を指定します。

選択リスト: 応答が複数ある場合は、[編集] をクリックし、使用可能な応答を指定します。[ユーザ作成のエントリを許可する] を選択して、ワークステーションユーザにエントリの作成を許可することもできます。

マスクの編集: [マスクの編集] フィールドの中のリストからフォーマットを選ぶことにより、ユーザの応答入力方法を制限できます。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。

指示: ワークステーションユーザに対する指示を追加します。

- 12** [適用] または [OK] をクリックするか、[リセット] をクリックして前の設定に戻します。

注: 管理者定義フィールドと呼ばれる、カスタムフィールドを作成して追加のデータを収集することもできます。詳細については、[125 ページの第 7 章「管理者が定義したフィールドの使用」](#)を参照してください。

4.1.3 デバイス向けのコレクションデータフォームの設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 [管理対象] タブをクリックします。
- 3 設定するデバイスを含んでいるフォルダをクリックします。
- 4 デバイスをクリックします。
- 5 [設定] タブをクリックします。
- 6 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 7 [カタログ] パネルで、[コレクションデータフォーム] をクリックします。

ラベル名	タイプ	表示	編集可能	必須	オートフィル	デフォルト	選択リスト	マスクの編集	指示
モデルネーム	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
姓	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
電子メール	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
2つ目の電話	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
ファックス	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ				
サイト	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
部署	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
コストセンター	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		
作成しています	文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	いいえ		<input type="checkbox"/> [編集]		

- 8 [設定の上書き] をクリックします。
このデバイスの管理ゾーンおよびフォルダ設定が上書きされます。
- 9 [導入テキスト] フィールドで、ワークステーションユーザ用にわかりやすいテキストを指定します。
- 10 (オプション) コレクションデータフォームをワークステーションユーザが常に表示できるようにする場合は、[ZENworks アイコンメニューで表示] を選択します。
これで、ワークステーションユーザが ZENworks アイコンを使用してフォームを開き、必要に応じて編集することができます。
- 11 (オプション) ワークステーションユーザがプロセスから抜けられるようにする場合は、[フォームにキャンセルボタンを表示する] を選択します。
- 12 (オプション) フォームにオートフィルデータを入力するには、[オートフィル専用非表示モード] を選択します。フォームはワークステーションユーザに対して非表示になります。
- 13 収集するデータを選択し、ワークステーションユーザの応答方法を設定します。
ラベル: たとえば名のように、収集しているデータの名前を表示します。
データタイプ: 文字、整数、小数、または日付のデータタイプを指定します。
表示: ワークステーションユーザに送信されたコレクションデータフォーム上の特定フィールドを表示します。
編集可能: デフォルト値を強制的に使用するのではなく、指定のフィールドにユーザが応答を入力または編集できるようにします。
必須: 応答を必須にします。フィールドが必須の場合、ワークステーションユーザは必須のデータを入力するまで、フォームを送信できません。

オートフィル: オートフィルがオンかオフかを表示します。[オートフィル] ダイアログボックスを開くには、[いいえ] をクリックします。このダイアログボックスでは、レジストリキーや環境変数を指定して、[コレクションデータフォーム] フィールドに HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Eventlog\ComputerName のような、レジストリキーまたは環境変数がポイントしているデータを入力できます。

デフォルト: デフォルト値として使用する値を指定します。

選択リスト: 応答が複数ある場合は、[編集] をクリックし、使用可能な応答を指定します。[ユーザ作成のエントリを許可する] を選択して、ワークステーションユーザにエントリの作成を許可することもできます。

マスクの編集: [マスクの編集] フィールドの中のリストからフォーマットを選ぶことにより、ユーザの応答入力方法を制限できます。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。

指示: ワークステーションユーザに対する指示を追加します。

- 14 [適用] または [OK] をクリックするか、[リセット] をクリックして前の設定に戻します。

注: 管理者定義フィールドと呼ばれる、カスタムフィールドを作成して追加のデータを収集することもできます。詳細については、[125 ページの第 7 章「管理者が定義したフィールドの使用」](#)を参照してください。

4.2 コレクションデータフォームの展開

コレクションデータフォームをワークステーションに展開するには次の 4 つの方法があります。

- ◆ **コレクションデータフォームのスケジュール:** コレクションデータフォームスケジュールを使用して、フォームを管理ゾーン内のすべてのワークステーションに展開します。詳細については、[78 ページのセクション 4.3「コレクションデータフォームの展開スケジュール」](#)を参照してください。
- ◆ **クイックタスクデバイス:** クイックタスクデバイスを使用して、データコレクションフォームをフォルダ内の 1 つまたは複数のワークステーションに展開します。詳細については、[102 ページのセクション 4.4「クイックタスクを使用したデータコレクションフォームの展開」](#)を参照してください。
- ◆ **デバイスタスク:** デバイスタスクを使用して、データコレクションフォームを特定のワークステーションに展開します。詳細については、[103 ページのセクション 4.5「デバイスタスクを使用したデータコレクションフォームの展開」](#)を参照してください。
- ◆ **インベントリスキャンの一部としてスケジュールする:** インベントリスキャンスケジュールを使用して、コレクションデータフォームを管理ゾーン内のすべてのワークステーションに展開します。詳細については、[13 ページのセクション 2.1「インベントリスキャンの設定」](#)を参照してください。

4.3 コレクションデータフォームの展開スケジュール

注:[コレクションデータフォームの設定] ページで [ZEN アイコンメニューに表示する] を選択している場合、ワークステーションユーザは常にコレクションデータフォームを使用できます。詳細については、71 ページのセクション 4.1「コレクションデータフォームの設定」を参照してください。

スケジュールは次の 3 つのレベルで定義できます。

- ◆ **管理ゾーン**: 設定はすべてのデバイスフォルダおよびデバイスに継承されます。管理ゾーン向けのデータコレクションフォームの展開をスケジュールするには、78 ページのセクション 4.3.1「管理ゾーン向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール」を参照してください。
- ◆ **デバイスフォルダ**: 設定はフォルダ内に含まれるすべてのデバイスによって継承されます。管理ゾーンレベルで設定を上書きします。デバイスフォルダ向けのデータコレクションフォームの展開をスケジュールするには、86 ページのセクション 4.3.2「フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール」を参照してください。
- ◆ **デバイス**: この設定は、それが設定されたデバイスにのみ適用されます。管理ゾーンレベルで設定を上書きします。デバイス向けのデータコレクションフォームの展開をスケジュールするには、94 ページのセクション 4.3.3「デバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール」を参照してください。

4.3.1 管理ゾーン向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーン設定] パネルで、[インベントリ] > [コレクションデータフォームスケジュール] の順にクリックします。
- 3 [スケジュールタイプ] フィールドで、コレクションデータフォームを送信するために使用するスケジュールのタイプを選択します。次のオプションから選択できます。
 - スケジュールなし**: 展開がスケジュールされていません。詳細については、78 ページの「スケジュールなし」を参照してください。
 - 特定の日付**: コレクションデータフォームが特定の日付に展開されています。詳細については、79 ページの「特定の日付」を参照してください。
 - 繰り返し**: コレクションデータフォームが繰り返しスケジュールに展開されています。詳細については、79 ページの「繰り返し」を参照してください。
 - イベント**: 展開がイベントによってトリガされます。詳細については、86 ページの「イベント」を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。



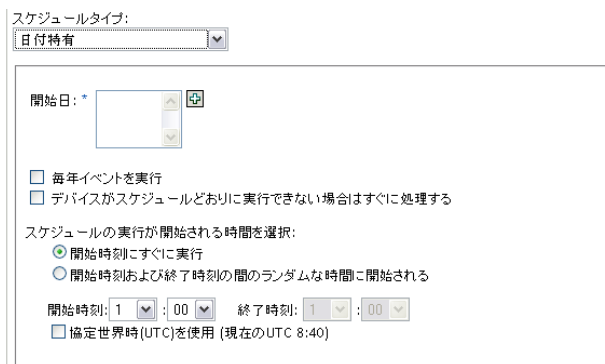
2 [適用] または [OK] をクリックします。

コレクションデータフォームの展開はスケジュールされていません。

特定の日付

指定した日付にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。



2 [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。

3 (オプション) 毎年、選択した日付にコレクションデータフォームを展開するには、[毎年イベントを実行] を選択します。

4 コレクションデータフォームを指定した時刻に展開するか、指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに送信するかを選択します。

5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。

6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。

7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新されたとき、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でコレクションデータフォームを展開するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日
 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

3 (オプション) 更新後の一定期間コレクションデータフォームの展開を遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分単位で指定します。

4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日
 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [曜日] を選択します。

曜日
 *

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

- 3 コレクションデータフォームを展開する日付を選択します。
- 4 [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。
- 5 [詳細オプション] をクリックします。

曜日

*

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:20)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月コレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日
 最初 日曜日

開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [月] を選択します。

月

日付:
 月の最終日
 最初 日曜日

開始時刻: :
[詳細オプション](#)

- [日付] を選択し 1～31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、反復スケジュール行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。
- [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。
- [詳細オプション] をクリックします。

月

日付:

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: :

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: :

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日:

終了日:

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

固定の間隔でコレクションデータフォームを送信するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日
 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

3 それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。

4 開始日付および時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する
 協定世界時(UTC)を使用
 スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:
 終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、終了日付と終了時刻を指定します。
- 8 [適用] または [OK] をクリックします。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。

スケジュールタイプ:
イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

- 2 次のいずれか1つを選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログイン
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。

4.3.2 フォルダ内のデバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 設定したいデバイスがあるフォルダの隣にある [詳細] をクリックします。
- 3 [設定] タブをクリックします。
- 4 [設定] パネルで、[インベントリ] > [コレクションデータフォームスケジュール] の順にクリックします。
- 5 [設定の上書き] をクリックします。
管理ゾーンの設定が上書きされます。

- 6 [スケジュールタイプ] フィールドで、コレクションデータフォームを送信するために使用するスケジュールのタイプを選択します。次のオプションから選択できます。
- スケジュールなし**：展開がスケジュールされていません。詳細については、[87 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。
- 特定の日付**：コレクションデータフォームが特定の日付に展開されています。詳細については、[87 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。
- 繰り返し**：コレクションデータフォームが繰り返しスケジュールに展開されています。詳細については、[88 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。
- イベント**：展開がイベントによってトリガされます。詳細については、[94 ページの「イベント」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください。

スケジュールタイプ:
スケジュールなし

OK 適用 リセット キャンセル

- 2 [適用] または [OK] をクリックします。
コレクションデータフォームの展開はスケジュールされていません。

特定の日付

指定した日付にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。

スケジュールタイプ:
日付特有

開始日: *

毎年イベントを実行
 デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:
 開始時刻にすぐに実行
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: 1 :00 終了時刻: 1 :00
 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 8:40)

- 2 [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。
- 3 (オプション) 毎年、選択した日付にコレクションデータフォームを展開するには、[毎年イベントを実行] を選択します。
- 4 コレクションデータフォームを指定した時刻に展開するか、指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに送信するかを選択します。

- 5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。
- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新されたとき、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でコレクションデータフォームを展開するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時

リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: :

[詳細オプション](#)

月

日付:

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: :

[詳細オプション](#)

固定間隔

月 週 日 時間 分

開始日: 開始時刻: :

[詳細オプション](#)

- 2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時

リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

3 (オプション) 更新後の一定期間コレクションデータフォームの展開を遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分単位で指定します。

4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

2 [曜日] を選択します。

3 コレクションデータフォームを展開する日付を選択します。

4 [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

曜日

*

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 11:20)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日: 08/09/18

終了日: 08/09/18

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月コレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日 +

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [月] を選択します。

月

日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日 +

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

- [日付] を選択し 1～31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、反復スケジュール行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。
- [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。
- [詳細オプション] をクリックします。

月

日付: 1
 月の最終日
 最初 日曜日

開始時刻: 1 : 00

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する
 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される
 終了時刻: 1 : 00

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:
 開始日: 08/09/18
 終了日: 08/09/18

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

固定の間隔でコレクションデータフォームを送信するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日
 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

3 それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。

4 開始日付および時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

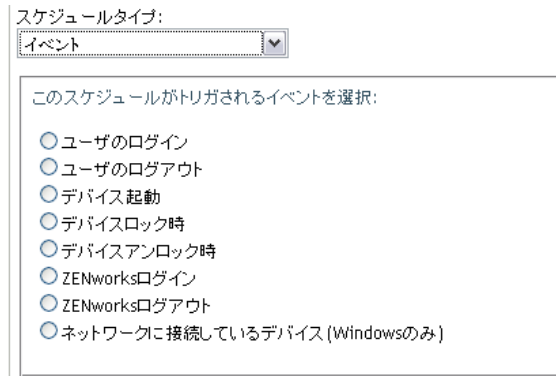
固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する
 協定世界時(UTC)を使用
 スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:
 終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、終了日付と終了時刻を指定します。
- 8 [適用] または [OK] をクリックします。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。



スケジュールタイプ:
イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

- 2 次のいずれか1つを選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログイン
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。

4.3.3 デバイス向けのコレクションデータフォームの展開スケジュール

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックし、[管理対象] タブをクリックします。
- 2 スケジュールを設定したいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 3 デバイスをクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックします。
- 5 [設定] パネルで、[インベントリ] をクリックします。
- 6 [カタログ] リストで、[コレクションデータフォームスケジュール] をクリックします。

- [インベントリ] パネルで、[設定の上書き] をクリックします。
管理ゾーンおよびフォルダ設定が上書きされます。
- [スケジュールタイプ] フィールドで、コレクションデータフォームを送信するために使用するスケジュールのタイプを選択します。次のオプションから選択できます。
スケジュールなし：展開がスケジュールされていません。詳細については、[95 ページの「スケジュールなし」](#)を参照してください。
特定の日付：コレクションデータフォームが特定の日付に展開されています。詳細については、[95 ページの「特定の日付」](#)を参照してください。
繰り返し：コレクションデータフォームが繰り返しスケジュールに展開されています。詳細については、[96 ページの「繰り返し」](#)を参照してください。
イベント：展開がイベントによってトリガされます。詳細については、[102 ページの「イベント」](#)を参照してください。

スケジュールなし

- [スケジュールタイプ] フィールドで、[スケジュールなし] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください。

スケジュールタイプ:
スケジュールなし

OK 適用 リセット キャンセル

- [適用] または [OK] をクリックします。
コレクションデータフォームの展開はスケジュールされていません。

特定の日付

指定した日付にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- [スケジュールタイプ] フィールドで、[日付固有] を選択します。

スケジュールタイプ:
日付特有

開始日: *

毎年イベントを実行
 デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

スケジュールの実行が開始される時間を選択:
 開始時刻にすぐに実行
 開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

開始時刻: 1 :00 終了時刻: 1 :00
 協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 8:40)

- [開始日] フィールドの右側にある + アイコンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。複数の日付を選択するには、+ アイコンを再度クリックします。選択された日付を削除するには、- アイコンをクリックします。
- (オプション) 毎年、選択した日付にコレクションデータフォームを展開するには、[毎年イベントを実行] を選択します。

- 4 コレクションデータフォームを指定した時刻に展開するか、指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムに送信するかを選択します。
- 5 開始時刻を指定します。[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択した場合は、終了時刻も指定します。
- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 [適用] または [OK] をクリックします。

繰り返し

デバイスが更新されたとき、特定の曜日、毎月、または一定の間隔でコレクションデータフォームを展開するかどうかを選択します。

デバイスが更新されたときにコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

月
 日付:
 月の最終日
 最初 日曜日

開始時刻: :
[詳細オプション](#)

固定間隔
 月 週 日 時間 分
 開始日: 開始時刻: :
[詳細オプション](#)

- 2 [デバイスのリフレッシュ時] をクリックします。

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時

リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

3 (オプション) 更新後の一定期間コレクションデータフォームの展開を遅らせる場合は [リフレッシュ後に実行を延期] を選択し、期間を日、時間、分単位で指定します。

4 [適用] または [OK] をクリックします。

特定の曜日にコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時

リフレッシュ後に実行を延期: 日 時間 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開始時刻: :

[詳細オプション](#)

月

日付:

月の最終日

開始時刻: :

[詳細オプション](#)

固定間隔

月 週 日 時間 分

開始日:

[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [曜日] を選択します。

- 3 コレクションデータフォームを展開する日付を選択します。
- 4 [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。
- 5 [詳細オプション] をクリックします。

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

毎月コレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日 +

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [月] を選択します。

月

日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日 +

開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

- [日付] を選択し 1～31 の間の数字を指定するか、[月の最終日] を選択するか、反復スケジュール行う日付の組み合わせを選択できる設定可能なフィールドを選択します。
- [開始時刻] フィールドで、コレクションデータフォームを展開する時刻を指定します。
- [詳細オプション] をクリックします。

月

日付:

月の最終日

最初 日曜日

開始時刻: :

[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する

協定世界時(UTC)を使用 (現在のUTC 12:55)

開始時刻および終了時刻の間のランダムな時間に開始される

終了時刻: :

スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:

開始日:

終了日:

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) 指定した開始時刻と終了時刻の間でランダムにコレクションデータフォームを展開する場合は、[開始時刻と終了時刻の間でランダムに開始] を選択して、終了時刻を指定します。
- 8 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、開始日付および終了日付を指定します。
- 9 [適用] または [OK] をクリックします。

固定の間隔でコレクションデータフォームを送信するには、次の手順に従います。

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[繰り返し] を選択します。

コレクションデータフォームのスケジュール
 コレクションデータフォームを実行するスケジュールを指定してください:

スケジュールタイプ:

デバイスの更新時
 リフレッシュ後に実行を延期: 0 日 0 時間 0 分

曜日

日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

月
 日付: 1
 月の最終日
 最初 : 日曜日
 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/07 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

OK 適用 リセット キャンセル

2 [固定間隔] を選択します。

固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[詳細オプション](#)

3 それぞれのフィールドで、月、週、日、時、および分の数を指定します。

4 開始日付および時刻を指定します。

5 [詳細オプション] をクリックします。

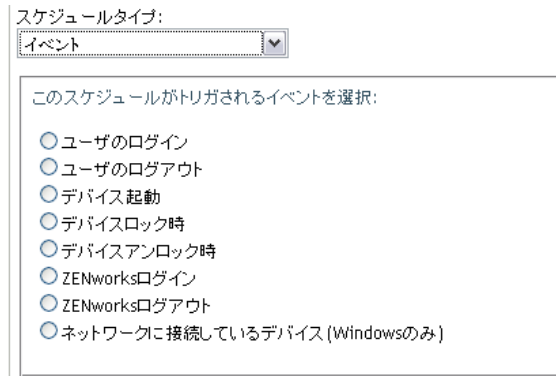
固定間隔
 0 月 0 週 0 日 0 時間 0 分
 開始日: 08/09/18 開始時刻: 1 : 00
[オプションを非表示](#)

デバイスがスケジュールどおりに実行できない場合はすぐに処理する
 協定世界時(UTC)を使用
 スケジュール実行を以下の日付範囲に限定:
 終了日: 08/09/18 終了時刻: 1 : 00 (現在のUTC 11:49)

- 6 (オプション) [協定世界時(UTC)の使用] を選択します。
- 7 (オプション) コレクションデータフォームの展開を特定の日付の範囲内に制限するには、[スケジュール実行を以下の日付範囲に限定] を選択し、終了日付と終了時刻を指定します。
- 8 [適用] または [OK] をクリックします。

イベント

- 1 [スケジュールタイプ] フィールドで、[イベント] を選択します。



スケジュールタイプ:
イベント

このスケジュールがトリガされるイベントを選択:

- ユーザのログイン
- ユーザのログアウト
- デバイス起動
- デバイスロック時
- デバイスアンロック時
- ZENworksログイン
- ZENworksログアウト
- ネットワークに接続しているデバイス (Windowsのみ)

- 2 次のいずれか1つを選択します。
 - ◆ ユーザのログイン
 - ◆ ユーザのログアウト
 - ◆ デバイスのブート
 - ◆ デバイスのシャットダウン
 - ◆ デバイスロック時
 - ◆ デバイスアンロック時
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログイン
 - ◆ ZENworks 再承認 - ログアウト
 - ◆ ネットワークに接続しているデバイス (Windows のみ)
- 3 [適用] または [OK] をクリックします。

4.4 クイックタスクを使用したデータコレクションフォームの展開

クイックタスクデバイスを使用して、コレクションデータフォームをフォルダ内の1つまたは複数のデバイスに展開します。

クイックタスクデバイスを使用してコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 インベントリしたいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 3 インベントリするデバイスを選択します。

4 [クイックタスク] > [インベントリウィザード] の順にクリックします。

[クイックタスクステータス] ダイアログボックスが表示され、展開の進行状況が示されます。完了すると、コレクションデータフォームがデバイスの画面に表示されます。展開を中止するには、ワークステーションを選択して [中止] をクリックします。



5 [非表示] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

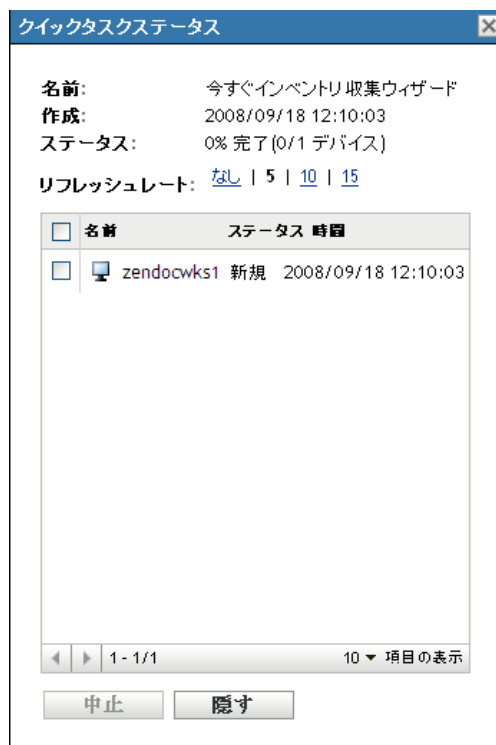
4.5 デバイスタスクを使用したデータコレクションフォームの展開

デバイスタスクを使用して、コレクションデータフォームを特定のワークステーションに展開します。

デバイスタスクを使用してコレクションデータフォームを展開するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[デバイス] をクリックします。
- 2 インベントリしたいデバイスを含むフォルダをクリックします。
- 3 インベントリしたいデバイスをクリックします。
- 4 [デバイスタスク] リストで、[デバイスインベントリウィザード] をクリックします。

[クイックタスクステータス] ダイアログボックスが表示され、展開の進行状況が示されます。完了すると、コレクションデータフォームがデバイスの画面に表示されず。展開を中止するには、ワークステーションを選択して [中止] をクリックします。



5 [非表示] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

4.6 インベントリのみデバイスの人口統計データのスキャン

インベントリのみデバイスは人口統計データの収集にコレクションデータフォームを使用しません。インベントリのみデバイス用の人口統計データは、`demodata.txt` という名前のファイルに手動で入力してデバイス上に保存する必要があります。このデータはインベントリスキャンの間に収集されます。

人口統計データは、Windows、Macintosh、UNIX、Linux でのみスキャンできます。

人口統計データをインベントリのみデバイスから収集するようにするには、次の手順に従います。

1 `demodata.txt` という名前のファイルを作成します。

ファイルは次の場所にあります。

- Windows の場合、`C:\Program Files\Novell\ZENworks\bin`
- Macintosh の場合、`/usr/local/novell/zenworks/umia`
- UNIX/Linux の場合、`/opt/novell/zenworks/umia`

2 次に示すフォーマットを使用して、人口統計データをファイルに入力します。

次の例では、含められるフィールドすべてと、さまざまなフィールドフォーマットを示していますが、ファイルに必要なのは実際に入力されるフィールドのみです。表示されるフィールドフォーマットの例を次に示します。

- ◆ nc_user.ADF10 は日付の入力方法を示します
- ◆ nc_user.ADF11 は時刻の入力方法を示します
- ◆ nc_workstation.ADF10 は通貨の入力方法を示します
- ◆ nc_workstation.ASF11 は数値 (小数または整数) の入力方法を示します

注: ZENworks コントロールセンターで設定されたこれらの管理者定義のフィールドにのみ、このファイルからデータが保存されます。

```
[demodata.txt]
nc_user.FirstName=John
nc_user.MiddleName=J
nc_user.LastName=Smith
nc_user.Email=jsmith@company.com
nc_user.Phone=(xxx) xxx-xxxx
nc_user.Phone2=(xxx) xxx-xxxx xxxx
nc_user.Fax=(xxx) xxx-xxxx
nc_user.ADF0=
nc_user.ADF1=
nc_user.ADF2=
nc_user.ADF3=
nc_user.ADF4=
nc_user.ADF5=
nc_user.ADF6=
nc_user.ADF7=
nc_user.ADF8=
nc_user.ADF9=
nc_user.ADF10=1963-07-04T00:00:00
nc_user.ADF11=01:45 pm
nc_user.ADF12=
nc_user.ADF13=
nc_user.ADF14=
nc_user.ADF15=
nc_user.ADF16=
nc_user.ADF17=
nc_user.ADF18=
nc_user.ADF19=
nc_workstation.Site=Utah
nc_workstation.Department=QA
nc_workstation.CostCenter=US98765
nc_workstation.Building=A
nc_workstation.Floor=3
nc_workstation.Room=Lab
nc_workstation.Phone=(xxx) xxx-xxxx
nc_workstation.ADF0=
nc_workstation.ADF1=
nc_workstation.ADF2=
nc_workstation.ADF3=
nc_workstation.ADF4=
nc_workstation.ADF5=
nc_workstation.ADF6=
nc_workstation.ADF7=
nc_workstation.ADF8=
nc_workstation.ADF9=
nc_workstation.ADF10=$ 2322.45
nc_workstation.ADF11=10.0
nc_workstation.ADF12=
nc_workstation.ADF13=
nc_workstation.ADF14=
nc_workstation.ADF15=
nc_workstation.ADF16=
nc_workstation.ADF17=
nc_workstation.ADF18=
nc_workstation.ADF19=
```

3 ファイルを保存します。

4 インベントリのみスキャンを [57 ページのセクション 3.1 「インベントリのみスキャンの設定」](#) および [61 ページのセクション 3.2 「インベントリのみスキャンのスケジュール」](#) に示されているように設定して実行します。

人口統計データのインポート

5

人口統計データのインポートとは、Microsoft Active Directory™ および Novell eDirectory™ からの人口統計情報を Novell® ZENworks® データベースに自動的に入力するプロセスです。人口統計情報は、ユーザ、ワークステーションなどのエンティティに関連付けられたインベントリデータで構成されます。

Microsoft Active Directory および Novell eDirectory のサポートバージョンについては『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「“LDAP Directory Requirements” (http://www.novell.com/documentation/zam10/zam10_installation/data/bacuke8.html)」を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 107 ページのセクション 5.1 「LDAP インポートタスクの作成」
- 114 ページのセクション 5.2 「LDAP インポートタスクの表示または編集」

5.1 LDAP インポートタスクの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] > [アセットインベントリ] の順にクリックします。



- 2 [LDAP インポートタスク] パネルで、[新規作成] をクリックして新規 LDAP インポートウィザードを起動します。



3 次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[詳細の定義] ページ	次のフィールドに入力します。 <ul style="list-style-type: none">◆ 名前: インポートタスクの一意的名前を入力します。名前に次の文字を含めることはできません: \ * ? : " ' < > ` % ~ 名前に数字を使用する場合は、名前と数値の間に _、#、または ^ を挿入する必要があります。アルファベット文字の直後に数値を入れてはなりません。たとえば、ABC という既存タスク名がある場合、新しいタスクを ABC_1 という名前で作成できますが、ABC1 という名前では作成できません。◆ 説明: インポートタスクの簡単な説明を指定します。この説明は、ZENworks コントロールセンターの [LDAP インポートタスクの詳細] パネルに表示されます。
[LDAP 設定の入力] ページ > [前もって設定されている LDAP ソースを検索] オプ ション	[LDAP 設定の入力] ページでは、インポートタスクの実行対象とする LDAP ディレクトリを識別できます。 <p>事前設定済み LDAP ソースは、管理ゾーンの利用者ソースとしてすでに定義されているソースです。利用者ソースの作成方法については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「利用者ソースの追加」を参照してください。</p> <p>LDAP ディレクトリへの新しい接続を作成したい場合は、109 ページの「[LDAP 設定の入力] ページ > [新しい LDAP ソースを指定] オプション」を参照してください。</p> <p>LDAP ディレクトリへの既存接続を使用するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ドロップダウンリストから [前もって設定されている LDAP ソースを検索] を選択します。2. [検索対象のソース] リストで、検索する LDAP ソースを選択します。 <p>[検索対象のソース] リストには、管理ゾーン内で利用者ソースとして定義されているディレクトリのみが含まれます。</p>

[LDAP 設定の入力] ページ
> [新しいLDAP ソースを指定] オプション

[LDAP 設定の入力] ページでは、インベントリ情報をインポートするため、LDAP ディレクトリへの新しい接続を作成できます。

新しいLDAP ソースは、インポートタスクの作成時にユーザソースとして定義されたソースです。

既存の接続を使用する場合は、108 ページの「[LDAP 設定の入力] ページ > [前もって設定されている LDAP ソースを検索] オプション」を参照してください。

LDAP ディレクトリへの新しい接続を作成するには、次の手順に従います。

1. ドロップダウンリストから、[新しいLDAP ソースを指定] を選択します。
2. 次のフィールドに入力します。

LDAP サーバ: LDAP ディレクトリがインストールされているサーバの IP アドレスまたは DNS ホスト名を指定します。

LDAP ポート: LDAP ポート番号を選択します。このオプションが有効か無効かによって、標準 SSL ポート (636) または非 SSL ポート (389) にデフォルト設定されています。LDAP サーバが異なるポートでリスンしている場合は、そのポート番号を選択します。

LDAP ルートコンテキスト: ディレクトリにエントリポイントを確認するルートコンテキストを指定します。ルートコンテキストを指定しないと、ディレクトリのルートコンテナがエントリポイントになります。

アカウント情報: ディレクトリへの読み込み専用アクセスを取得するための資格情報を指定します。ユーザには読み込み専用のアクセス権以上の権限を与えることができますが、読み込み専用のアクセス権が必要かつ推奨される権限です。Novell eDirectory™ にアクセスする場合、ユーザアカウントにはワークステーションおよびサーバオブジェクトの WM:NAME DNS 属性に対する読み込み権も必要です。

資格情報を追加するには、次の手順に従います。

- a. [追加] をクリックして、[アカウント情報を入力] ダイアログボックスを表示します。
- b. [タイプ] ドロップダウンリストから、[LDAP] を選択します。
- c. [ユーザ名] フィールドに、適切なユーザ名を指定します。

Novell eDirectory アクセスには、標準の LDAP 表記法を使用します。例

:cn=admin_read_only,ou=users,o=mycompany

Microsoft Active Directory へのアクセスの場合は、標準ドメイン表記を使用します。例
:AdminReadOnly@mycompany.com

- d. [パスワード] フィールドと [パスワードの再入力] フィールドで、ユーザパスワードを指定します。
- e. [OK] をクリックします。

1. (オプション) 資格情報を保存するには、[データストアするアカウント情報を保存] を選択します。

保存した資格情報は、セキュリティ強化のためにデータベース内で暗号化されます。

保存されていないアカウント情報は、ZENworks サーバが再起動されるとメモリからクリアされます。スケジュールされているインポートタスクを作成する場合は、資格情報を保存することで、インポートタスクの実行時にそれらの情報が引き続き有効であるようにする必要があります。

[フィールドのマップ] ページ
ジ> [キー] オプション

[フィールドのマップ] ページの左側には LDAP ディレクトリのフィールド、右側には ZENworks インベントリのフィールドが表示されます。[ZENworks インベントリフィールド] のリストには、次のものが表示されます。

- ◆ LDAP ソースで定義されている何百にも上る可能性のあるクラスの小さなサブセット (ZENworks アセットインベントリに関連のあるクラスのみから成る)
- ◆ すべての [ワークステーション] と [ユーザ] の管理者定義フィールド

[キー] オプションでは、各 LDAP インポートタスクのキー割り当てを定義できます。各 LDAP インポートタスクに、マップされたフィールドを一意に識別するキー割り当てを定義する必要があります。LDAP インポートタスクごとに、キーを1つだけ定義できます。

キーは、LDAP フィールドを一意の ZENworks インベントリフィールドにマッピングすることで割り当てられる一意の値です。保存されたキー値は、タスクの実行時に、キーフィールドで検索されます。キーが一意の場合、指定された LDAP フィールドのデータが指定された ZENworks インベントリフィールドにインポートされます。キーが一意でない場合は、最初にヒットしたキーのみがマッピング用に選択されるので、正しいマッピングにならない可能性があります。

キー割り当てを定義するには、次の手順に従います。

1. [LDAP フィールド] リストで、フィールドを見つけます。
2. [ZENworks インベントリフィールド] リストで、類似クラスの対応キーフィールドを選択します。

ワークステーションベースの LDAP フィールドはすべて、[デバイス] クラスに属する ZENworks インベントリフィールドにしかマップできません。同様に、ユーザベースの LDAP フィールドはすべて、[ユーザ] クラスに属する ZENworks インベントリフィールドにしかマップできません。したがって、ワークステーションベースのフィールドとユーザベースのフィールドに、それぞれ独立した2つのタスクを作成する必要があります。

たとえば、Active Directory からのインポート時に、[computer] クラスに属する [name] と呼ばれる LDAP フィールドのキーを定義する場合 (ただし、組織全体を通じて一意にする)、[デバイス] クラスに属する [マシン名] と呼ばれる ZENworks インベントリフィールドのみを選択できます。

3. [キー] をクリックします。

キーを定義すると、“= [LDAP Fields class] / [LDAP Fields name]” が、選択した ZENworks インベントリフィールドに付加されます。

たとえば、[computer] クラスに属する [name] と呼ばれる LDAP フィールドと、[デバイス] クラスに属する [マシン名] と呼ばれる ZENworks インベントリフィールドを定義する場合は、インベントリ [デバイス] クラスの [マシン名] フィールドが、[マシン名 = computer / name] に変更されません。

[フィールドのマッピング] ページ > [マップ] オプション

[マップ] オプションでは、1つまたは複数の LDAP ディレクトリフィールドを ZENworks インベントリデータベース内の対応フィールドにマップできます。

LDAP ディレクトリフィールドを対応する ZENworks インベントリフィールドにマップするには、次の手順に従います。

1. [LDAP フィールド] リストで、マップするフィールドを見つけます。
2. [ZENworks インベントリフィールド] リストで、類似クラスの対応するフィールドを選択します。

ワークステーションベースの LDAP フィールドはすべて、[デバイス] クラスに属する ZENworks インベントリフィールドにしかマップできません。同様に、ユーザベースの LDAP フィールドはすべて、[ユーザ] クラスに属する ZENworks インベントリフィールドにしかマップできません。したがって、ワークステーションベースのフィールドとユーザベースのフィールドに、それぞれ独立した2つのタスクを作成する必要があります。

たとえば、Active Directory からのデータのインポート時に、[user] クラスに属する [displayName] と呼ばれる LDAP ファイルをマップする場合、そのファイルは、[ユーザ] クラスに属する [名] と呼ばれる ZENworks インベントリフィールドにしかマップできません。

3. [Map(マップ)] をクリックします。

フィールドのマッピング後、“<- [LDAP フィールドクラス] / [LDAP フィールド名]” が、選択した ZENworks インベントリフィールドに付加されます。

たとえば、[user] クラスに属する *displayName* と呼ばれる LDAP フィールドを [ユーザ] クラスに属する [名] と呼ばれる ZENworks インベントリフィールドにマップする場合、ZENworks インベントリ [ユーザ] クラスの [名] フィールドが [名 <- user / displayName] に変更されます。

選択した LDAP フィールドのサイズが対応する ZENworks インベントリフィールドのサイズを超える場合、データはストレージの最大サイズに切り詰められ、[前回のインポートメッセージ] カラムにエラーメッセージが表示されます。エラーの詳細については、%ZENWORKS_HOME%\logs\ (Windows の場合) または /var/opt/novell/log/zenworks/loader-messages.log (Linux の場合) にある loader-messages.log を参照してください。

4. (オプション) さらに他のフィールドをマップする場合は、ステップ 1?4 を繰り返します。

[ウィザード] ページ	詳細
[フィールドのマッピング] ページ > [削除] オプション	<p>フィールドマッピングを削除するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> [ZENworks インベントリフィールド] リストで、削除したいマッピングされたフィールドをクリックします。 [削除] をクリックします。 <p>選択したフィールドからキー割り当てを削除するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> [ZENworks Inventory Fields(ZENworks インベントリフィールド)] リストで、キーとして定義されているフィールドをクリックします。 [削除] をクリックします。 <p>キーを再度定義して、マッピングされたフィールドを一意に識別します。詳細については、111 ページの「[フィールドのマッピング] ページ > [キー] オプション」を参照してください。</p>
[インポートスケジュールの設定] ページ	<p>インポートタスクを実行する場合は、スケジュールを設定し、[OK] をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> タスクを作成後すぐに実行する場合は、[今すぐ] をクリックします。 スケジュールを設定するには、次の手順に従います。 <ol style="list-style-type: none"> [スケジュールどおり] をクリックして、次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> スケジュールなし：スケジュールが設定されていないことを示します。タスクはスケジュールが設定されるか、手動で起動されるまで実行されません。これは、タスクを作成し、後でスケジュールを設定するか、手動でタスクを実行する場合に便利です。 特定の日付：タスクを実行する日付を1つまたは複数指定します。 繰り返し：タスクを実行する曜日、月の特定日、または固定の間隔を示します。 <hr/> <p>重要：複数のタスクに同じスケジュールまたは同時スケジュールを設定していないことを確認します。そのように設定した場合は、スケジュールしたタスクが実行されないことがあります。詳細については、トラブルシューティングのシナリオ 156 ページの「LDAP インポートタスクを同時に実行すると、それらが保留になる」を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> (条件付き) スケジュールに関して [日付特有] または [繰り返し] を選択した場合は、スケジュールのフィールドに入力します。 <p>スケジュールの詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。</p>
[プライマリサーバの選択] ページ	LDAP インポートタスクを実行させる ZENworks サーバを選択します。

ウィザードを完了すると、インポートタスクのリストが [LDAP インポートタスク] パネルに表示されます。このパネルを使用してタスクのステータスを監視できます。

キーが一意的な場合は、マップされた割り当てに基づいて、LDAP フィールドからのデータが ZENworks インベントリフィールドにインポートされます。

重要: タスクの実行前に、既存タスクがすべて終了し、保留中のタスクが存在しないことを確認してください。詳細については、トラブルシューティングのシナリオ [156 ページの「LDAP インポートタスクを同時に実行すると、それらが保留になる」](#) を参照してください。

5.2 LDAP インポートタスクの表示または編集

LDAP インポートタスクの設定を表示または編集するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] > [アセットインベントリ] の順にクリックします。
- 2 [LDAP インポートタスク] パネルで、表示または編集したい設定を持つタスクをクリックします。
[概要] タブに、該当タスクの設定のリストが表示されます。
 - **GUID:** タスクの GUID(globally unique identifier) が表示されます。GUID は、ランダムに生成された文字列から成るタスクの一意的識別子です。GUID は編集できません。タスクが存在する限り、変更されません。
 - **説明:** タスクの説明が表示されます(タスクの作成時に入力してある場合)。説明は ZENworks コントロールセンターにのみ表示されます。
 - **プライマリサーバ:** 検出タスクの実行に割り当てられている ZENworks サーバ名を表示します。
 - **スケジュール:** タスクが実行されるスケジュールを表示します。
 - **設定された LDAP サーバ:** LDAP ベースのディレクトリサーバをホストするサーバの IP アドレスを表示します。
 - **マッピング:** LDAP ディレクトリと ZENworks インベントリフィールド間で確立された、すべてのマッピングされたキー割り当てが表示されます。
- 3 (条件付き) デバイスの情報が不正確または不十分な場合は、[編集] をクリックして、手動でフィールドの詳細を変更します。

別の LDAP サーバを設定する場合、マッピングされたキー割り当ての一部が正しくなくなることがあります。その場合は、キー割り当てを確認してフィールドを再度マップする必要があります。

フィールドのマッピングの詳細については、[112 ページの「\[フィールドのマップ\] ページ > \[マップ\] オプション」](#) を参照してください。キー割り当ての定義方法の詳細については、[111 ページの「\[フィールドのマップ\] ページ > \[キー\] オプション」](#) を参照してください。

ローカルソフトウェア製品の作成

次のセクションでは、ローカルソフトウェア製品に関する情報について説明します。

- ◆ 115 ページのセクション 6.1 「ローカルソフトウェア製品の理解」
- ◆ 115 ページのセクション 6.2 「ローカルソフトウェア製品パネルの理解」
- ◆ 116 ページのセクション 6.3 「ローカルソフトウェア製品の作成」
- ◆ 118 ページのセクション 6.4 「ローカルソフトウェア製品の統合」
- ◆ 118 ページのセクション 6.5 「製品情報の編集」
- ◆ 122 ページのセクション 6.6 「ZENworks ナレッジベースの更新」

6.1 ローカルソフトウェア製品の理解

インベントリスキャンで検出されたソフトウェアアプリケーションは、その製品に関連付けられている特定のファイルで識別されます。これらの識別情報は、ZENworks® ナレッジベースの中にローカルで保存されており、最新の製品認識の更新 (PRU) をダウンロードおよびインストールすることで更新できます。ナレッジベースにない製品を識別するために、不明の製品に関連付けられているファイルを検索し、そのファイル情報を使用してローカルソフトウェア製品と呼ばれる新しい製品識別情報を作成することができます。このローカルソフトウェア製品情報は、ナレッジベースとマージすることができるので、後続のスキャンではこれらの新しい製品が認識されるようになります。

手順は次のとおりです。

1. インベントリスキャンを使用してソフトウェアファイルを収集します。
2. ソフトウェアファイルに関するレポートを実行します。
3. 収集されたファイルに基づいて、ローカルソフトウェア製品を作成します。
4. 新規製品で ZENworks ナレッジベースを更新します。

この手順の詳細については、116 ページのセクション 6.3 「ローカルソフトウェア製品の作成」を参照してください。

6.2 ローカルソフトウェア製品パネルの理解

[ローカルソフトウェア製品] パネルにアクセスするには、ZENworks コントロールセンターで [設定] をクリックして [アセットインベントリ] タブをクリックします。

図 6-1 ローカルソフトウェア製品パネル

製造元	製品名	バージョン	ファイル	インストール
Macrovision Corporation	InstallShield	14.0	INETTRANS.EXE	0
Microsoft Corporation	Microsoft .NET Framework 2.0	2.0.50727.42	X86_DOTNETFX.EXE	0
Novell, Inc	ZENworks Adaptive Agent	10.1.0.0	EDITTEXTFILE_ENF.EXE	0

このパネルには、すでに作成されたローカルソフトウェア製品が次の詳細とともに表示されます。

- ◆ **製造元**：製品の製造元です。
- ◆ **製品**：製品の名前です。製品名をクリックすると、[ローカルソフトウェア製品の詳細] ページが表示されます。このページで、製品やファイルの詳細を編集できます。
- ◆ **バージョン**：製品のバージョンです。
- ◆ **ファイル**：製品に関連するファイルのリストです。
- ◆ **インストール数**：管理ゾーン内のローカルソフトウェア製品のインストール数です。

6.3 ローカルソフトウェア製品の作成

ローカルソフトウェア製品は、製品に関連するソフトウェアファイルから作成されます。ローカルソフトウェア製品を作成する前に、それらのファイルを検索するように設定されているインベントリスキャンを実行する必要があります。インベントリスキャンの設定および実行の詳細については、[13 ページの第 2 章「管理対象デバイスのスキャン」](#) および [57 ページの第 3 章「インベントリのみデバイスのスキャン」](#) を参照してください。

ローカルソフトウェア製品を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。



製造元	製品名	バージョン	ファイル	インストール
Macrovision Corporation	InstallShield	14.0	INETTRANS.EXE	0
Microsoft Corporation	Microsoft .NET Framework 2.0	2.0.50727.42	X86.DOTNETFX.EXE	0
Novell, Inc	ZENworks Adaptive Agent	10.1.0.0	EDITTEXTFILE_ENF.EXE	0

- 2 [ローカルソフトウェア製品] パネルで、[新規] > [マシン別のソフトウェアファイルからの登録] または [新規] > [一意のソフトウェアファイルからの作成] の順にクリックします。

[ソフトウェアファイルからの登録] をクリックすると、インベントリスキャンの設定内容に従って、レポート定義が開き、これを実行して、管理ゾーンにある各マシン上のすべてのソフトウェアファイルを一覧できます。

[一意のソフトウェアファイルからの作成] をクリックすると、レポートが開き、これを実行して、ZENworks ナレッジベースの中で識別された既知のソフトウェア製品とは関連しないすべてのソフトウェアファイルを一覧できます。ファイルは、VRB (Version Recognition Block) 製品情報を使用して識別されます。

カスタムレポート定義サマリ: マシンによるソフトウェアファイル	
説明	各マシン上のソフトウェアファイルを一覧表示します。ローカル製品はこのリストから作成できます。
タイプ	ソフトウェアファイル、フォーカス 検索されたすべてのファイル
カラム	マシン名 ファイル名 ファイル拡張子 ファイルフォルダ
基準	デバイスはリタイアしています =しゅいえ
作成者	
作成日	08/08/21
前回実行日	08/09/10

[実行](#) [編集](#) [閉じる](#)

3 [実行] をクリックします。

マシンによるソフトウェアファイル 実行日: 08/09/29

ソフトウェアファイル、フォーカス 検索されたすべてのファイル
1 to 100 of 719 レコード:
デバイスはリタイアしています =しゅいえ

<input type="checkbox"/>	マシン名	ファイル名	ファイル拡張子	ファイルフォルダ
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	EDITINFILFILE_ENF	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WOVELL\ZENWORKS\BIN\HANDLERS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	PATCHJRE	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\VARQUIVOS_COMUNJS\JAVA\UPDATE\BASE IMAGES\JRE1.6.0.B105\PATCH-JRE1.6.0_02.B06
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	_SICORES	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	CHKRZM	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WSN GAMING_ZONE\WINDOWS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	ISSABLD	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	HSCUPD	EXE	C:\WINDOWS\PCHEALTH\HELPCTR\BINARIES
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	INETTRANS	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT ZENWORKS\ACTIVATIONSUPPORT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	PERSONALITYHANDLER	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WOVELL\ZENWORKS\BIN\HANDLERS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	HRTZZM	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WSN GAMING_ZONE\WINDOWS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	FILEREMOVEACTION	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WOVELL\ZENWORKS\BIN\HANDLERS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	WINDOWSINSTALLER-KB893803-V2-X86	EXE	C:\WINDOWS\WOVELL\ZENWORKS\BIN
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	PATCHSDK	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\VARQUIVOS_COMUNJS\JAVA\UPDATE\BASE IMAGES\JDK1.6.0.B105\PATCH-JDK1.6.0_02.B06
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	MSINFO32	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\VARQUIVOS_COMUNJS\MICROSOFT_SHARED\W
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	ICWCONN2	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\INTERNET_EXPLORER\CONNECTION_WIZARD
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	SETUPPREREQ	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	ISUSPM	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT ZENWORKS\REDIST\UPDATE_SERVICE
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	ISPRJCNV	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WACROVISION\ADMINSTUDIO\8.5\CONVERT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	SHVLZM	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WSN GAMING_ZONE\WINDOWS
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	ZISWIN	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\WOVELL\ZENWORKS\BIN\PREBOOT
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS1	COPIER	EXE	C:\VARQUIVOS DE PROGRAMAS\VARQUIVOS_COMUNJS\JAVA\UPDATE\BASE IMAGES\JDK1.6.0.B105\PATCH-JDK1.6.0_02.B06

[レポート定義の編集](#) [Excel](#) [Excel\(すべて\)](#) [CSV](#) [CSV\(すべて\)](#) [PDF](#) [PDF\(すべて\)](#) [ローカル製品の作成](#) [閉じる](#)

4 ローカルソフトウェア製品を作成するのに使用するファイルを選択します。

このページでは、レポート定義を編集したり、レコードを Excel、CSV、および PDF 形式でエクスポートできます。レポート定義の編集の詳細については、[139 ページのセクション 8.2.6 「カスタムレポートの編集」](#) を参照してください。

5 [ローカル製品の作成] をクリックします。

製品が作成されたことを確認するダイアログボックスが表示されます。

ローカル製品の作成

1 ローカル製品が作成されました。

閉じる

6 [閉じる] をクリックします。

[設定] ページの [ローカルソフトウェア製品] パネルに、選択された製品が表示されます。

6.4 ローカルソフトウェア製品の統合

[ローカルソフトウェア製品] パネルに同じ製品を識別する複数のファイルがある場合、1つのファイルに統合することができます。

2つ以上のファイルを統合するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [ローカルソフトウェア製品] パネルで、マージするファイルを選択します。

製造元	製品名	バージョン	ファイル	インストール
Macrovision Corporation	InstallShield	14.0	INETTRANS.EXE	0
Microsoft Corporation	Microsoft .NET Framework 2.0	2.0.50727.42	X86.DOTNETFX.EXE	0
Novell, Inc	ZENworks Adaptive Agent	10.1.0.0	EDITTEXTFILE_ENF.EXE	0

4 [アクション] > [選択した製品のマージ] をクリックします。

ローカルソフトウェア製品のマージ

ターゲット製品の選択

ターゲット製品:

OK キャンセル

5 [ターゲット製品] フィールドでターゲット製品を選択します。

6 [OK] をクリックします。

ターゲット製品はそのコンポーネントファイルとともに [ファイル] カラムに表示されます。

6.5 製品情報の編集

ZENworks コントロールセンターを使用すると、ローカルソフトウェア製品の製品のネーミングデータおよび製品認識データの両方を編集できます。詳細については、次の各セクションを参照してください。

- ◆ 119 ページのセクション 6.5.1 「製品のネーミングデータの編集」
- ◆ 120 ページのセクション 6.5.2 「製品認識データの編集」

6.5.1 製品のネーミングデータの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [ローカルソフトウェア製品] パネルで製品をクリックします。

編集	削除				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
ファイル	サイズ	日付	VRB	バージョンレポート	
<input type="checkbox"/>	INETTRANS.EXE	263088	07/04/18	Macrovision Corporation InstallShield 14.0	<input type="checkbox"/>

[ローカルソフトウェア製品の詳細] ページには、ローカルソフトウェア製品およびその識別に使用されたファイルに関する詳細が表示されます。このページで、ファイルを識別するために製品の情報または VRB (Version Recognition Block) データを編集できます。製品に関連するファイルに VRB (Version Resource Block) 情報が含まれていない場合は、フィールドに「無名」と表示されます。

- 4 [製品のネーミング] セクション内のフィールドを編集します。

製造元: 製品の製造元です。

製品: 製品の名前です。

バージョン: 製品のバージョンです。

カテゴリ / サブカテゴリ: 製品のタイプです。独自のカテゴリやサブカテゴリを作成できます。詳細については、[150 ページのセクション 10.3 「製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理」](#)を参照してください。

配布: 配布のタイプ:

- ◆ 商用
- ◆ フリーウェア
- ◆ シェアウェア
- ◆ オープンソース

- ◆ 複数
- ◆ パブリックドメイン

ライセンスタイプ: ソフトウェア製品のライセンスタイプ:

- ◆ フル
- ◆ 評価
- ◆ OEM
- ◆ 複数
- ◆ ネットワークライセンス

現在の製造元: 製品の現在の製造元。

バージョンレポーティングの使用: 認識のために製品のバージョンを使用するには、[バージョンレポートの使用] を選択します。製品のバージョンまたはファイルのバージョンの認識に使用できます。[バージョン] フィールドに製品の定義で使用されるバージョンを指定する場合は、値を指定して [バージョンレポートの使用] を選択します。製品のバージョンまたはファイルのバージョンを識別に使用できます。ファイルのバージョンを使用するには、[製品の認識] セクションで [バージョンレポート] を選択します。

5 [適用] または [OK] をクリックします。

6.5.2 製品認識データの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [ローカルソフトウェア製品] パネルで製品をクリックします。

ローカルソフトウェア製品の詳細

製品のネーミング

製造元: Microsoft Corporation

製品名: Microsoft .NET Framework 2.0

バージョン: 2.0.50727.42 バージョンレポートの使用

カテゴリ/サブカテゴリ: その他のソフトウェア / その他

配布:

ライセンスタイプ:

現在の製造元: Microsoft Corporation

製品の認識

ファイル	サイズ	日付	VRB	バージョンレポート
<input type="checkbox"/> X86.DOTNETFX.EXE	23510720	08/09/29	Microsoft Corporation Microsoft .NET Framework 2.0 2.0.50727.42	<input type="checkbox"/>

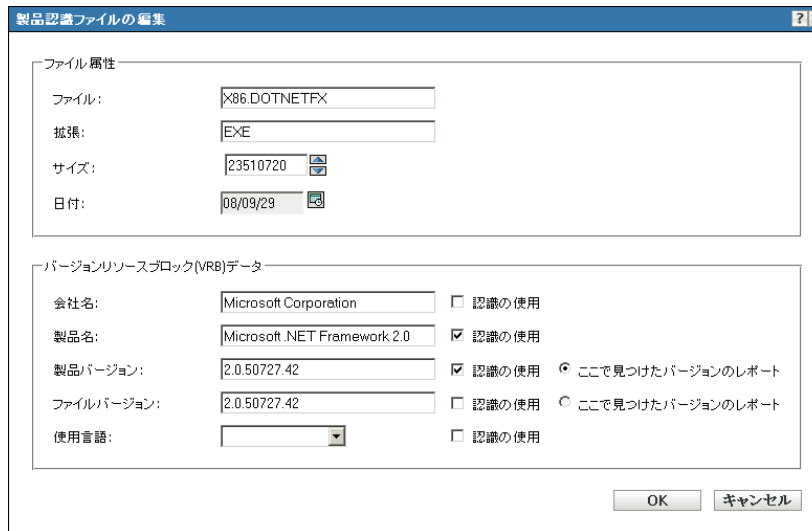
最終更新日時: 08/09/28

OK 適用 リセット キャンセル

- 4 [製品の認識] セクションで、編集するファイルを選択します。バージョンレポートに製品バージョンの代わりにファイルバージョンを使用する場合は、そのファイルの [バージョンレポート] を選択します。

製品の認識					
編集... 削除					
ファイル	サイズ	日付	VRB	バージョンレポート	
<input type="checkbox"/>	CONFIGWIZARDS.EXE	0	7/11/07	1.0.5000.0	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	EX03A.EXE	0	7/11/07	Fjred & Irving Inc. Testing App 1.00	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	JUCHECK.EXE	0	7/11/07	UpdateChecker Module 1, 0, 0, 1	<input type="checkbox"/>

5 [編集] をクリックします。



製品認識ファイルの編集

ファイル属性

ファイル: X86.DOTNETFX
 拡張: EXE
 サイズ: 23510720
 日付: 08/09/29

バージョンリソースブロック(VRB)データ

会社名: Microsoft Corporation 認識の使用
 製品名: Microsoft .NET Framework 2.0 認識の使用
 製品バージョン: 2.0.50727.42 認識の使用 ここで見つけたバージョンのレポート
 ファイルバージョン: 2.0.50727.42 認識の使用 ここで見つけたバージョンのレポート
 使用言語: 認識の使用

OK キャンセル

6 [ファイル属性] フィールドを編集します。

ファイル: ファイルの名前です。

内線番号: ファイルの拡張子です。

サイズ: ファイルのサイズです。ファイルサイズを変更するには矢印アイコンを使用します。

日付: ファイルが作成された日付です。カレンダーアイコンをクリックして、別の日付を選択します。

7 Version Resource Block (VRB) データを編集します。

会社名: ファイルの製造元です。このデータを認識条件として使用するには、[認識の使用] を選択します。

製品名: 製品の名前です。このデータを認識条件として使用するには、[認識の使用] を選択します。

製品バージョン: 製品のバージョンです。このデータを認識条件として使用するには、[認識の使用] を選択します。認識に、ファイルバージョンの代わりに製品バージョンを使用するには、[ここで見つけたバージョンのレポート] を選択します。

ファイルバージョン: ファイルのバージョンです。このデータを認識条件として使用するには、[認識の使用] を選択します。認識に、製品バージョンの代わりにファイルバージョンを使用するには、[ここで見つけたバージョンのレポート] を選択します。

言語: 関連付けられている言語です。利用可能な言語はドロップダウンリストに表示されます。

- 8 [製品認識ファイルの編集] ページで [OK] をクリックします。
- 9 [ローカルソフトウェア製品の詳細] ページで [OK] をクリックします。

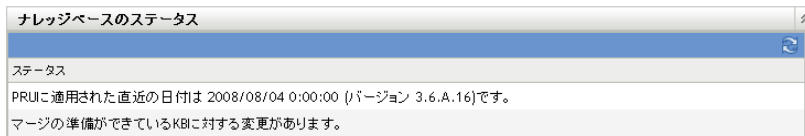
6.6 ZENworks ナレッジベースの更新

Zenworks ナレッジベースは、次の 2 種類の方法で更新されます。

- ◆ ローカルソフトウェア製品とのマージ
- ◆ 製品認識の更新 (PRU) とのマージ

[ナレッジベースのステータス] パネル ([設定] > [アセットインベントリ]) には、最新の PRU (Product Recognition Update) の日付と、ナレッジベースとマージ可能な新しく定義されたローカルソフトウェア製品が存在するかどうかを示されます。

図 6-2 ナレッジベースのステータスパネル



6.6.1 ローカルソフトウェア製品と ZENworks ナレッジベースのマージ

ローカルソフトウェア製品を作成した後に、それを ZENworks ナレッジベースに追加することで、後続のスキャンでデバイス上の製品を識別できます。[アセットインベントリ] ページの [ナレッジベースステータス] パネル ([設定] > [アセットインベントリ]) では、いつの時点でマージ可能な製品が利用できるかという情報が表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。

製品元	製品名	バージョン	ファイル	インストール	
<input type="checkbox"/>	Macrovision Corporation	InstallShield	14.0	INETTRANS.EXE	0
<input type="checkbox"/>	Microsoft Corporation	Microsoft .NET Framework 2.0	2.0.50727.42	X86.DOTNETFX.EXE	0
<input type="checkbox"/>	Novell, Inc	ZENworks Adaptive Agent	10.1.0.0	EDITTEXTFILE_ENF.EXE	0

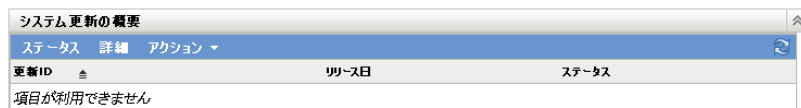
- 3 [ローカルソフトウェア製品] パネルで、[アクション] > [ローカル製品の変更に伴うナレッジベースの更新] の順にクリックします。

ダイアログが表示され、更新はすべてのローカル製品の変更が完了した後でのみ行われることが示されます。ローカル製品データの編集の詳細については、[118 ページのセクション 6.5 「製品情報の編集」](#) を参照してください。

- 4 [OK] をクリックします。
このアクションにより、一覧されているソフトウェア製品がナレッジベースとマージされます。

6.6.2 PRU を使用した ZENworks ナレッジベースの更新

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [システム更新] タブをクリックします。



- 3 [システム更新概要] パネルで、[アクション] > [今すぐPRU のダウンロードとインストール] の順にクリックします。

新しい PRU が適用されるか、またはナレッジベースが更新されたことを示すメッセージが表示されます。

管理者が定義したフィールドの使用

次のセクションでは、管理者定義フィールドに関する Novell® ZENworks® 10 Asset Management の機能と手順について説明します。

- 125 ページのセクション 7.1 「管理者が定義したフィールドについて」
- 125 ページのセクション 7.2 「管理者定義フィールドの作成」

7.1 管理者が定義したフィールドについて

管理者定義フィールドを使用すると、カスタムフィールドをインベントリデータに追加できます。フィールドには 4 種類あります。

- **ユーザ**：コレクションデータフォームを使用して、ワークステーションユーザに関する人口統計データを収集するのに使用されます。
- **ワークステーション**：コレクションデータフォームを使用して、ワークステーションに関する人口統計データを収集するのに使用されます。
- **コンポーネント**：コンポーネントに関するインベントリデータを定義するのに使用されます。
- **製品**：製品に関するインベントリデータを定義するのに使用されます。

図 7-1 [管理者定義フィールド] パネル

管理者定義フィールド	
タイプ	フィールド
ユーザ	0
ワークステーション	0
コンポーネント	0
製品名	0

[管理者定義フィールド] パネルには、フィールドのタイプと定義済み値の数が表示されます。[ユーザ] または [ワークステーション] フィールドを作成すると、ワークステーションユーザが入力できるフィールドとしてコレクションデータフォーム上に表示されます。[コンポーネント] および [製品] フィールド値はコンポーネントまたは製品のプロパティに追加されます。個々のコンポーネントまたは製品のフィールド値を変更するには、製品またはコンポーネントの検索を実行し、製品またはコンポーネントをクリックして、[製品の詳細] ページのフィールド値を編集します。詳細については、145 ページの第 9 章「コンポーネントデータの管理」および 149 ページの第 10 章「製品データの管理」を参照してください。

7.2 管理者定義フィールドの作成

作成したい管理者定義フィールドのタイプが、[ユーザ]、[ワークステーション]、[コンポーネント]、または [製品] フィールドのいずれであっても、手順は同じです。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。

- 2 [管理者定義フィールド] パネルで、作成したいフィールドのタイプ、[ユーザ]、[ワークステーション]、[コンポーネント] または [製品] をクリックします。

[アセットインベントリ](#) > 管理者が定義したフィールド(ユーザ)

ユーザフィールド						
新規 削除						
<input type="checkbox"/>	名前	データタイプ	サイズ	タイプの編集	デフォルト値	内部名
使用できる項目がありません。						

[ユーザフィールド] パネルには、既存の定義済みフィールドと次の情報が表示されます。

名前: フィールドの名前です。

データタイプ: 文字、整数、小数、または日付のいずれかのデータタイプです。

サイズ: 英数字の数です。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。

編集タイプ: ユーザが応答を入力する方法を指定します。値は、*編集*、*リスト*、および *コンボ* です。

デフォルト値: フィールドが作成された際に指定される値です。

内部名: フィールドの内部 ID です。

- 3 [新規] をクリックします。

新しい管理者が定義したフィールド

🔍 ステップ 1: 一般情報

一般フィールド情報の入力

タイプ: ユーザ

名前:*

デフォルト値:

データタイプ:

サイズ:

タイプの編集:

マスクの編集:

アスタリスクでマークされているフィールドは必須です。

- 4 次のフィールドに必要な事項を入力します。

タイプ: 選択したフィールドのタイプに応じてデフォルトで入力されます。

名前: 管理者が定義したフィールドの名前です。このフィールドは必須です。

デフォルト値: フィールドのデフォルト値です。

データタイプ: 文字、整数、10進、または日付です。

サイズ: フィールドの中で使用できる英数字の最大数です。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。

編集タイプ: フィールドの入力および選択をより柔軟に行うことができます。次のように、3つのオプションがあります。

- ◆ **編集:** ユーザは値を入力するか、デフォルト値を編集できます。
- ◆ **リスト:** ユーザは選択リストから値を選択できます。
- ◆ **コンボ:** ユーザは値を入力するか、リストから選択することができます。

マスクの編集: [マスクの編集] フィールドリストから選択し、値を入力する方法を制限します。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。

- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [リスト] または [コンボ] を [編集タイプ] として **126 ページのステップ 4** で選択した場合は、選択値のリストを指定して [次へ] をクリックします。

新しい管理者が定義したフィールド

🔍 ステップ 2: 選択リストの値

フィールドに選択リストの値の入力

選択リストの値:

追加

編集

削除

インポート...

<<戻る 次>> キャンセル

- 6a [選択リストの値] フィールド内で値を指定します。
 - 6b [追加] をクリックします。他の追加値についてもこの手順を繰り返します。
 - 6c 追加値についても、**127 ページのステップ 6a** および **127 ページのステップ 6b** を繰り返します。
 - 6d (オプション) 値を選択して [編集] をクリックして変更します。
 - 6e (オプション) 値を選択して [削除] をクリックして削除します。
 - 6f (オプション) [インポート] をクリックして [インポートファイル] フィールドでファイルを指定することによって値のリストをインポートします。
- 7 [終了] をクリックして、新規フィールドを作成します。

レポートの使用

レポートを使用すると、管理ゾーンからのインベントリデータを表示および分析することができます。ZENworks® コントロールセンターには、カスタマイズ可能なレポートと一緒に実行できる事前定義済みレポートが含まれます。このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ◆ 129 ページのセクション 8.1 「インベントリ標準レポートの使用」
- ◆ 132 ページのセクション 8.2 「インベントリカスタムレポートの使用」
- ◆ 142 ページのセクション 8.3 「インベントリレポート権限」

8.1 インベントリ標準レポートの使用

標準または事前定義済みレポートは、インベントリデータをスキャンしてデータをレポート設定に従って整理します。詳細は次のトピックを参照してください。

- ◆ 129 ページのセクション 8.1.1 「利用可能な標準レポート」
- ◆ 131 ページのセクション 8.1.2 「標準レポートの実行」

8.1.1 利用可能な標準レポート

ZENworks コントロールセンターには、管理ゾーン内のインベントリを分析するために使用できる複数の事前定義済みレポートが含まれます。これらのレポートは機能別にフォルダにグループ分けされます。利用可能フォルダおよびレポートは次のとおりです。

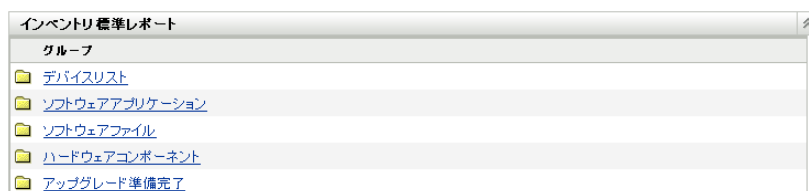
- ◆ **デバイスリスト (フォルダ):** デバイスの詳細に焦点を置いたレポート。
 - ◆ **マシン/ログイン名によるデバイス:** すべてのデバイスをマシンおよびログイン名によってリストします。
 - ◆ **製造元/モデルによるデバイス:** システムのカウントを製造元およびモデルによって表示します。
 - ◆ **リース詳細:** リースデバイスを契約によって有効期限とともに表示します。
 - ◆ **仮想マシン付きのデバイス:** スキャンされたホスト仮想マシン付きのデバイスを表示します。
 - ◆ **アセットタグの複製:** 複製アセットタグを持つデバイスを表示します。
 - ◆ **マシン名の複製:** 複製されたマシン名を持つデバイスを表示します。
 - ◆ **シリアル番号の複製:** 複製されたシリアル番号を持つデバイスを表示します。
- ◆ **ソフトウェアアプリケーション (フォルダ):** ソフトウェアアプリケーションにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **アンチウイルス詳細:** アンチウイルス定義ファイルをインストールされているデバイスへのリンクと一緒に表示します。
 - ◆ **カテゴリによるソフトウェアアプリケーション:** カテゴリおよびサブカテゴリによってグループ分けされているインストール済みソフトウェア製品のカウントを表示します。

- ◆ **製造元によるソフトウェアアプリケーション**：製造元によってグループ分けされているインストール済み製品のカウンタを表示します。
- ◆ **OS および製品によるソフトウェアアプリケーション**：オペレーティングシステムおよび製品名によってグループ分けされているインストール済み製品のカウンタを表示します。
- ◆ **シリアル番号の複製**：同じシリアル番号の複数のインスタンスを持つソフトウェア製品を表示します。
- ◆ **高帯域アプリケーション**：マルチメディアおよびファイル共有ソフトウェアなどの高帯域製品のカウンタを表示します。
- ◆ **ホットフィックス詳細**：ホットフィックスおよびセキュリティパッチをフィックスおよびパッチの説明とそれらがインストールされているマシンへのリンクと一緒に表示します。
- ◆ **Microsoft 製品**：Microsoft 固有の分類によってグループ分けされたインストール済み Microsoft* 製品のカウンタを表示します。
- ◆ **オペレーティングシステム**：インストール済みオペレーティングシステムによってグループ分けされたデバイスのカウンタを表示します。
- ◆ **OS サービスパック**：オペレーティングシステムおよびサービスパックによってグループ分けされたデバイスのカウンタを表示します。
- ◆ **ソフトウェアファイル (フォルダ)**：ソフトウェアファイル、カテゴリ別のグループ化、製造元、およびデバイスにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **カテゴリによるソフトウェアファイル**：カテゴリ (すべて、その他、補助、およびシステム) によってグループ分けされたソフトウェアファイルの数をファイルリストへのリンクと共に表示します。
 - ◆ **製造元によるソフトウェアファイル**：製造元によってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウンタをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
 - ◆ **デバイスによるソフトウェアファイル**：デバイスによってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウンタをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
- ◆ **ハードウェアコンポーネント (フォルダ)**：ハードウェアデータにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **BIOS**：製造元によってグループ分けされたインストール済みバージョンおよびリリース日を表示します。
 - ◆ **カテゴリによるハードウェアコンポーネント**：カテゴリおよびサブカテゴリによるインストール済みハードウェア製品のカウンタを表示します。
 - ◆ **製造元によるハードウェアコンポーネント**：製造元によってグループ分けされているインストール済みハードウェア製品のカウンタを表示します。
 - ◆ **ディスク容量**：特定の範囲内の合計ディスク容量を持つデバイスのカウンタを表示します。
 - ◆ **シリアル番号の複製**：同じシリアル番号を持つハードウェア製品を表示します。
 - ◆ **空きディスク容量**：特定の範囲内の空きディスク容量を持つデバイスのカウンタを表示します。
 - ◆ **メモリサイズ**：RAM サイズによってグループ分けされているデバイスのカウンタを表示します。

- ◆ **プロセッサ** : CPU スピードによってグループ分けされているデバイスのカウントを表示します。
- ◆ **アップグレード準備完了 (フォルダ)** : どのデバイスがアップグレードの準備ができているかを判別するのを支援するレポート。
 - ◆ **メモリアップグレード** : デバイスをメモリ上のデータおよび利用可能スロットと一緒にリストします。
 - ◆ **SLED 10 対応 /Vista 未対応** : Windows Vista に対応していない SUSE® Linux Enterprise Desktop 10 に対応しているデバイスを表示します。
 - ◆ **SLED 10 対応 /Vista Premium 未対応** : Windows Vista Premium に対応していない SUSE Linux Enterprise Desktop 10 に対応しているデバイスを表示します。
 - ◆ **SUSE Enterprise Desktop** : デバイスが SUSE Linux Enterprise Desktop に対応しているかどうかを示すデータと一緒にデバイスをリストします。
 - ◆ **Windows 2003 Server** : デバイスが Windows Server* 2003 に対応しているかどうかを示すデータと一緒にデバイスをリストします。
 - ◆ **Windows Vista 対応** : Windows Vista の実行に対応しているデバイスを表示します。
 - ◆ **Windows Vista Premium 対応** : Windows Vista Premium の実行に対応しているデバイスを表示します。
 - ◆ **Windows XP Professional** : デバイスが Windows XP Professional に対応しているかどうかを示すデータと一緒にデバイスをリストします。

8.1.2 標準レポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。

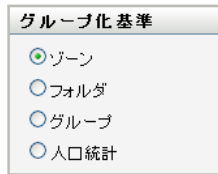


- 2 [インベントリ標準レポート] パネルで、実行したいレポートを含むフォルダをクリックします。

レポート	
名前	説明
アンチウイルス/アンチスパイウェア詳細	インストールされているデバイスへのリンクのあるアンチウイルス/アンチスパイウェア定義ファイル
カテゴリによるソフトウェアアプリケーション	カテゴリおよびサブカテゴリによるインストール済みソフトウェア製品のカウント
製造元によるソフトウェアアプリケーション	製造元によるインストール済みソフトウェア製品のカウント
OSおよび製品によるソフトウェアアプリケーション	製品名によるインストール済みソフトウェア製品のカウント
シリアル番号の複製	同じシリアル番号の複製インストールされたソフトウェア製品のリスト
高音域幅アプリケーション	KaZaaおよびGnutellaなどの一般的なマルチメディアおよびファイル共有アプリケーションのカウント
ネットフォックス詳細	インストールされているデバイスのリストへのリンクのある、ネットフォックスおよびセキュリティパッチ
Microsoft製品	Microsoft特有の分類によってグループ化された、インストール済みMicrosoft製品のカウント
オペレーティングシステム	インストール済みオペレーティングシステムによるデバイスのカウント
OSサービスパック	インストール済みオペレーティングシステムおよびサービスパックによるデバイスのカウント

レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、129 ページのセクション 8.1.1 「利用可能な標準レポート」を参照してください。

- 3 (オプション) 検索をフィルタする方法を選択します。



次のいずれかを使用して、レポートデータの範囲を限定できます。

- ◆ **ゾーン**:[ゾーン] を選択して管理ゾーン全体からデータを収集します。
- ◆ **フォルダ**:[フォルダ] を選択し、フォルダ名を指定してそのフォルダに関するデータを収集します。
- ◆ **グループ**:[グループ] を選択し、グループ名を指定してそのグループに関するデータを収集します。
- ◆ **人口統計**:[人口統計] を選択し、データのフィルタに使用する条件を選択します。

4 レポートをクリックして実行します。

レポートのさまざまなリンクをクリックすると、追加情報が表示されます。レポートは、それに対応するリンクをクリックして、Excel、CSV、またはPDF形式でエクスポートできます。レポートの中には、[グラフ] をクリックすると、データが棒グラフ、円グラフ、または折れ線グラフ形式で表示されるものもあります。

8.2 インベントリカスタムレポートの使用

ZENworks コントロールセンターを使用すると、管理ゾーン内のインベントリを分析するために使用できるカスタムレポートを作成して実行できます。詳細は次を参照してください。

- ◆ 133 ページのセクション 8.2.1 「利用可能なカスタムレポート」
- ◆ 134 ページのセクション 8.2.2 「カスタムレポートの実行」
- ◆ 135 ページのセクション 8.2.3 「カスタムレポートの作成」
- ◆ 137 ページのセクション 8.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」
- ◆ 138 ページのセクション 8.2.5 「電子メールアドレスの設定」
- ◆ 139 ページのセクション 8.2.6 「カスタムレポートの編集」
- ◆ 140 ページのセクション 8.2.7 「カスタムレポートの移動」
- ◆ 141 ページのセクション 8.2.8 「カスタムレポートまたはフォルダの削除」
- ◆ 141 ページのセクション 8.2.9 「日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示」
- ◆ 142 ページのセクション 8.2.10 「新しいレポート定義のインポート」

8.2.1 利用可能なカスタムレポート

ZENworks コントロールセンターには、管理ゾーン内のインベントリを分析するために使用できる複数の事前定義済みレポートが含まれます。これらのレポートは機能別にフォルダにグループ分けされます。利用可能フォルダおよびレポートは次のとおりです。

- ◆ **ハードウェアコンポーネント (フォルダ):** BIOS およびシステムの詳細など、ハードウェアコンポーネントにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **BIOS およびシステム詳細:** 現在のシステムすべての BIOS 詳細を表示します。
 - ◆ **最近 6ヶ月内に追加または削除されたハードウェア:** 管理ゾーン内のハードウェアコンポーネントをリストし、最近 6ヶ月内に追加または削除された数を表示します。
 - ◆ **最近 30 日以内に追加された USB デバイス:** 最近 30 日以内に USB デバイスが追加されたワークステーションを表示します。
 - ◆ **最近 30 日以内にメモリが削除されたワークステーション:** 最近 30 日以内にメモリモジュールが削除されたワークステーションを表示します。
- ◆ **ローカル製品の作成 (フォルダ):** ローカルソフトウェア製品を作成するために使用できるソフトウェアファイルにフォーカスしたレポート。ローカルソフトウェア製品の詳細については、**115 ページの第 6 章「ローカルソフトウェア製品の作成」**を参照してください。
 - ◆ **マシンによるソフトウェアファイル:** 各マシン上のソフトウェアファイルを表示します。このレポートを使用してローカルソフトウェア製品を作成できます。
 - ◆ **固有のソフトウェアファイル:** ソフトウェアファイルを Version Resource Block (VRB) データと一緒に表示します。このレポートを使用してローカルソフトウェア製品を作成できます。
- ◆ **ソフトウェアアプリケーション (フォルダ):** 指定した期間内にいくつかのアプリケーションが追加されたかなど、ソフトウェアアプリケーションにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **最近 30 日以内に追加された SW アプリケーション (製品ごと):** 最近 30 日以内に追加された製品ごとにグループ化されたソフトウェアアプリケーションを表示します。
 - ◆ **最近 30 日以内に追加された SW アプリケーション (ワークステーションごと):** 最近 30 日以内に追加されたワークステーションごとにグループ化されたソフトウェアアプリケーションを表示します。
 - ◆ **最近 30 日以内に削除された SW アプリケーション (製品ごと):** 最近 30 日以内に削除された製品ごとにグループ化されたソフトウェアアプリケーションを表示します。
 - ◆ **最近 30 日以内に削除された SW アプリケーション (ワークステーションごと):** 最近 30 日以内に削除されたワークステーションごとにグループ化されたソフトウェアアプリケーションを表示します。
 - ◆ **アンチウイルスソフトウェアを備えたワークステーション:** アンチウイルスソフトウェアがインストールされている Windows ワークステーション (削除済みとしてマークされていない) を表示します。
 - ◆ **疑いのあるソフトウェアがインストールされているワークステーション:** 疑いのあるソフトウェアがインストールされているワークステーションを表示します。

- ◆ **アンチウイルスソフトウェアを備えていないワークステーション**: アンチウイルスソフトウェアがインストールされていない Windows ワークステーション (削除済みとしてマークされていない) を表示します。
- ◆ **システム (フォルダ)**: 指定した期間内に追加されたシステムの数など、システム詳細にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **仮想マシンのホスト**: 仮想マシンをホストしているシステムを表示します。
 - ◆ **最近 90 日以内に追加されたシステム**: 最近 90 日以内にインベントリデータベースに追加されたシステム (Windows、UNIX*/Linux*) を表示します。
 - ◆ **最近 90 日以内に削除されたシステム**: 最近 90 日以内に削除されたシステム (Windows、UNIX/Linux) を表示します。
 - ◆ **90 日間の結果をロードしていないシステム**: 削除済みとマークされていない、90 日間のスキャン結果をロードしていないシステム (Windows、UNIX/Linux) を表示します。
 - ◆ **空き容量が 100MB 未満のシステム**: 削除済みでなく、空きディスク容量が 100MB 未満のシステム (Windows、UNIX/Linux) を表示します。
 - ◆ **メモリが 128MB 未満のシステム**: 削除済みでなく、合計メモリが 128MB 未満のシステム (Windows、UNIX/Linux) を表示します。
 - ◆ **仮想マシン**: 管理ゾーン内の仮想マシンを表示します。

8.2.2 カスタムレポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、実行したいレポートを含むフォルダをクリックします。

各フォルダ内のレポートの数が [レポートカウント] カラムに表示されます。

カスタムレポート					
新規 編集 削除					
<input type="checkbox"/>	名前	タイプ	フォーカス	作成日時	最終実行日時
<input type="checkbox"/>	最近6ヶ月以内に追加または削除されたハードウェア	ハードウェアコンポーネント	履歴	2008/08/21	
<input type="checkbox"/>	最近30日以内に追加された仮想デバイス	ハードウェアコンポーネント	リムーバブルメディア	2008/08/21	
<input type="checkbox"/>	最近30日以内にメモリが削除されたワークステーション	ハードウェアコンポーネント	メモリモジュール	2008/08/21	

- 3 レポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 最近6ヶ月内に追加または削除されたハードウェア

説明	ハードウェアコンポーネントを最近6ヶ月内の追加および削除と共に一覧表示します
タイプ	ハードウェアコンポーネント、フォーカス: 履歴
カラム	製品の製造元 製品名 新しい製品(サマリ) 削除された製品(サマリ)
基準	製品作成日 過去6ヶ月以内 Report Date or 製品削除日 過去6ヶ月以内 Report Date
作成者	
作成日	08/08/21
前回実行日	

[実行](#) [スケジュールが通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

4 左隅の [実行] をクリックします。

[レポート] ページで、レポートのさまざまなリンクをクリックして追加情報を表示します。レポートは、それに対応するリンクをクリックして、Excel、CSV、またはPDF形式でエクスポートできます。

8.2.3 カスタムレポートの作成

1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。

2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、レポートを保存するフォルダをクリックするか、または [新規] をクリックしてフォルダ名を指定し、[OK] をクリックして新しいフォルダを作成します。

3 [新規] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ1/2: タイプとフォーカスの選択

名前	<input type="text"/>
タイプ	<input checked="" type="radio"/> デバイス <input type="radio"/> ソフトウェアアプリケーション <input type="radio"/> ソフトウェアファイル <input type="radio"/> ハードウェアコンポーネント <input type="radio"/> ライセンス管理
フォーカス	<input checked="" type="radio"/> 基本デバイス属性 <input type="radio"/> 製品フィルタリング <input type="radio"/> ファイルフィルタリング <input type="radio"/> 履歴
<input type="button" value="続行..."/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- 4 [名前] フィールドで名前を指定します。
- 5 レポートタイプを選択します。タイプは次のとおりです。
 - ◆ デバイス
 - ◆ ソフトウェアアプリケーション
 - ◆ ソフトウェアファイル
 - ◆ ハードウェアコンポーネント
 - ◆ ライセンス管理
- 6 レポートのフォーカスを選択します。オプションは次のとおりです。
 - ◆ 基本デバイス属性
 - ◆ 製品フィルタリング
 - ◆ ファイルフィルタリング
 - ◆ 履歴
- 7 [続行] をクリックします。

- 8 次のフィールドに入力します。
 - 名前:** レポート名を指定します。
 - フォルダ:** レポートを保存するフォルダを選択します。
 - 説明:** レポートの説明を指定します。
 - タイプ:** このフィールドは表示専用です。選択したレポートタイプが表示されます。
 - 列:** 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。
 - 基準:** ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

9 [保存] をクリックします。

8.2.4 カスタムレポートのスケジュールと通知の送信

レポートを自動的に実行して、レポートが準備できたら通知を指定したユーザに送信するようにスケジュールすることができます。レポートをスケジュールして通知を設定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、スケジュールしたいレポートを含むフォルダをクリックします。
- 3 スケジュール設定したいレポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 最近6ヶ月内に追加または削除されたハードウェア

説明	ハードウェアコンポーネントを最近6ヶ月内の追加および削除と共に一覧表示します
タイプ	ハードウェアコンポーネント、フォーカス: 履歴
カラム	製品の製造元 製品名 新しい製品(サマリ) 削除された製品(サマリ)
基準	製品作成日 過去6ヶ月以内 Report Date or 製品削除日 過去6ヶ月以内 Report Date
作成者	
作成日	08/08/21
前回実行日	

[実行](#) [スケジュール/通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

4 [スケジュール/通知] をクリックします。

スケジュールレポート/通知: 最近30日以内にメモリが削除されたワークステーション

開始日	<input type="text"/>
頻度	年
出力	<input checked="" type="radio"/> 保存されたレポートの結果 <input type="radio"/> 通知(電子メール)の送信 <input type="radio"/> 両方 <input checked="" type="checkbox"/> 一致するレコードが見つかった場合にのみ通知を送信/結果を保存します
最大レコード	<input type="text"/>
<input type="button" value="送信"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

5 次のフィールドに入力します：

開始日：カレンダーアイコンをクリックして、日付を指定します。

頻度：通知を送信する頻度を選択します。年、月、週、日、一度、またはなし。

出力：レポートを保存するか、レポートの準備ができたことを知らせる電子メール通知を送信するか、または両方を選択します。結果を保存するか、または一致したレコードが検出されたときにのみ通知を送信するかを選択することもできます。電子メールアドレスの設定の詳細については、[138 ページのセクション 8.2.5 「電子メールアドレスの設定」](#)を参照してください。

最大レコード：保存するレコードの最大数を指定します。

6 [送信] をクリックします。

8.2.5 電子メールアドレスの設定

カスタムレポートが実行されたときに選択したユーザに通知を送信できます。これを行うには、通知先の電子メールアドレスを ZENworks コントロールセンターにインポートする必要があります。通知の送信の詳細については、[137 ページのセクション 8.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#)を参照してください。

[設定] ページの [電子メールアドレス] パネルでは、レポート定義で設定されているように、カスタムレポートの準備ができたなら通知を送信するのに使用する電子メールアドレスをインポートできます。以前にインポートした電子メールアドレスは、ユーザの名前と一緒にパネルに一覧表示されています。

電子メールアドレスをインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

電子メールアドレスの管理



- 4 [インポート元] フィールドで、[インベントリデータ] または [カンマ区切りファイル] のいずれかを選択します。

[インベントリデータ] を選択した場合は、インベントリスキャンで検出された電子メールアドレスがインポートされます。

[カンマ区切りファイル] を選択した場合は、[電子メールアドレスファイル] フィールドにファイルの場所を指定します。

- 5 [インポート] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

すべての電子メール情報を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。

- 2 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。
 - 3 [削除] をクリックします。
 - 4 [OK] をクリックします。
- すべての電子メール情報が削除されます。

8.2.6 カスタムレポートの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、編集したいレポートを含むフォルダをクリックします。
- 3 レポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 最近6ヶ月内に追加または削除されたハードウェア

説明	ハードウェアコンポーネントを最近6ヶ月内の追加および削除と共に一覧表示します
タイプ	ハードウェアコンポーネント、フォーカス: 履歴
カラム	製品の製造元 製品名 新しい製品(サマリ) 削除された製品(サマリ)
基準	製品作成日 過去6ヶ月以内 Report Date or 製品削除日 過去6ヶ月以内 Report Date
作成者	
作成日	08/08/21
前回実行日	

[実行](#) [スケジュールが通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

- 4 左隅の [編集] をクリックします。

カスタムレポート定義

名前: アンチウイルスソフトウェアを含むネットワーク 説明:

フォルダ: ソフトウェアアプリケーション

タイプ: ソフトウェアアプリケーション、フォーカス=緑:ソフトウェア

カラム

使用可能	使用可能	カラム順序
CPU製品	マシン名	
CPU速度(MHz)	シリアル番号(デバイス)	
LANアドレス	アセットタグ(デバイス)	
OSサービスタック	IPアドレス	
OSビルド	OS製品	
OS製造元	OSモデル	
Windowsドメイン	ログイン名	
はリリースされています	部署	
インスタンス(サマリ)		
インベントリタイプ		

基準

フィールド	オペレータ	値	
デバイスがオンラインしています	=	いいえ	+ -
製品が削除されています	=	いいえ	+ -
デバイス	レポートがない	Software Applications/Workstatio	+ -
インベントリタイプ	=	ワークステーション	+ -

サマリ条件

サマリフィールド	オペレータ	値	
			+ -

[保存] [キャンセル]

5 次のフィールドを編集します。

名前: レポートの名前。

フォルダ: レポートを保存するフォルダです。

説明: レポートの説明です。

タイプ: このフィールドは表示専用です。選択したレポートタイプが表示されます。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、強調表示された選択データを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

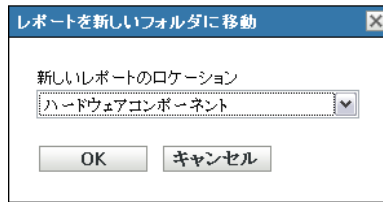
基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

6 [保存] をクリックします。

8.2.7 カスタムレポートの移動

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、移動したいレポートを含むフォルダをクリックします。
- 3 移動するレポートを選択します。
- 4 [編集] > [移動] の順にクリックします。



- 5 新しいフォルダの場所を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

8.2.8 カスタムレポートまたはフォルダの削除

警告: [ローカル製品作成] フォルダにあるレポートを削除すると、ローカルソフトウェア製品を作成できなくなります。

カスタムレポートを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、削除したいレポートを含むフォルダをクリックします。
- 3 削除するレポートを選択します。
- 4 [削除] をクリックします。

フォルダを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、削除したいフォルダをクリックします。
- 3 [削除] をクリックします。

注: フォルダを削除すると、そのフォルダ内のすべてのレポートが削除されます。

8.2.9 日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示

スケジュールごとに実行されるレポートはデータベースに保存されます。これらのレポートはタイトルまたは日付で参照できます。レポートのスケジュール設定の詳細については、[137 ページのセクション 8.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#)を参照してください。

スケジュールレポートを日付またはタイトルで表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで次のいずれか1つをクリックします。
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果を日付ごとに表示]
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果をタイトルごとに表示]

[グループごとのスケジュール済みレポート] ページが開き、日付またはタイトルでグループ化された保存済みのスケジュール済みカスタムレポートとレポート件数が表示されます。日付またはタイトルをクリックして、レポートの選択や表示ができる [スケジュール済みレポート] ページを開きます。レポートのグループを削除するには、グループを選択して [削除] をクリックします。

スケジュール済みレポート				
削除				
<input type="checkbox"/>	結果	ユーザー名	レコード	ストレージサイズ(B)
<input type="checkbox"/>	マシンによるソフトウェアファイル		44	46
<input type="checkbox"/>	固有のソフトウェアファイル		22	38

1 - 2/2 10 ▼ 項目の表示

8.2.10 新しいレポート定義のインポート

レポートを ZENworks Asset Management 7.5 で定義した場合は、ZENworks コントロールセンターにインポートできます。ZENworks コントロールセンターによってエクスポートされたレポートを再インポートすることもできます。インポートには、事前定義した XML フォーマットが必要です。

レポート定義をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] をクリックします。
- 2 [インベントリカスタムレポート] パネルで、[アクション] > [新規レポート定義のインポート] の順にクリックします。

カスタムレポート定義のインポート

クエリインポートファイル: 参照...

- 3 [クエリインポートファイル] フィールドにファイルを指定するか、または [参照] をクリックして検索します。
- 4 [インポート] をクリックします。

8.3 インベントリレポート権限

インベントリレポート権限では、各フォルダとそれに含まれるレポートに対する各管理者の権限を管理できます。各レポートフォルダには、フォルダに関連する権限が設定されており、この権限はフォルダ内すべてのレポートに適用されます。たとえば、全権限を持つユーザは、レポートを編集ができますが、表示 / 実行権限を持つユーザは、レポートの表示および実行のみできます。インベントリレポート権限を使用して、特定のレポートへのアクセスや編集が可能なユーザを制限できます。カスタムまたは標準のレポートフォルダタイプ、およびレポート名がフォルダに関連する権限と共に一覧表示されます。次の選択肢があります。

- ◆ **すべての権限の削除:** これにより、フォルダに関するすべての権限が削除され、特定の管理者はフォルダを表示できなくなります。
- ◆ **表示 / 実行権限の割り当て:** これにより、特定の管理者は特定のフォルダ内のレポートを表示および実行できますが、フォルダ内のレポートを編集、移動、または削除することはできません。

- ◆ **全権限の割り当て**：これにより、レポートを作成、編集、移動、および削除する全権限が特定の管理者に与えられます。標準レポートに関しては、レポートの変更ができませんので、この設定は [表示/実行] と同じになります。

インベントリレポート権限を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理者] パネルで管理者をクリックします。
- 3 [管理者タスク] パネルで、[インベントリレポート権限] をクリックします。

フォルダタイプ	フォルダ名	権限
<input type="checkbox"/> カスタムレポート	Hardware Components	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> カスタムレポート	Local Product Creation	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> カスタムレポート	Systems	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> カスタムレポート	Software Applications	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> 標準レポート	デバイスリスト	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> 標準レポート	ソフトウェアアプリケーション	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> 標準レポート	ソフトウェアファイル	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> 標準レポート	ハードウェアコンポーネント	表示/実行権限
<input type="checkbox"/> 標準レポート	アップグレード準備完了	表示/実行権限

- 4 目的のフォルダを選択します。
- 5 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [編集] > [すべての権限を削除]
 - ◆ [編集] > [権限の表示/実行の割り当て]
 - ◆ [編集] > [全権限の割り当て]

変更内容は [権限] カラムに反映されます。

コンポーネントデータの管理

コンポーネントは、ワークステーションと関連付けられているハードウェアまたはソフトウェア製品で、たとえばスプレッドシートアプリケーションまたはネットワークインタフェースカードなどです。ZENworks® コントロールセンターを使用すると、ワークステーションのコンポーネントを一覧表示したり、または特定のコンポーネントを持つワークステーションを検出することができます。コンポーネントを見つけたら、製品名やシリアル番号などのコンポーネントデータを編集できます。コンポーネントデータはコンポーネント検索を通じて検討できます。

次のセクションでは、コンポーネントデータの管理に関する情報について説明します。

- ◆ 145 ページのセクション 9.1 「コンポーネントの検索とコンポーネントデータの表示」
- ◆ 146 ページのセクション 9.2 「コンポーネントデータの編集」

9.1 コンポーネントの検索とコンポーネントデータの表示

コンポーネントデータを表示する前に、コンポーネント検索を実行する必要があります。コンポーネント検索は、[コンポーネント検索] パネル ([設定] > [アセットインベントリ]) から実行できます。

図 9-1 コンポーネント検索パネル

マシン名	製造元	製品名	バージョン	カテゴリ	サブカテゴリ
使用できる項目がありません。					

[コンポーネント検索] パネルでは、特定のコンポーネントを検索するためのフィルタおよびフィルタセットを選択でき、コンポーネントを次の情報とともに一覧表示することができます。

- ◆ **マシン名** : 特定の製品を備えたマシンの名前です。
- ◆ **製造元** : 製品の製造元です。
- ◆ **製品** : 製品の名前です。
- ◆ **バージョン** : 製品のバージョンです。
- ◆ **カテゴリ** : 製品のカテゴリです。
- ◆ **サブカテゴリ** : 製品のサブカテゴリです。

コンポーネントを検索してコンポーネントデータを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。

- 2 [コンポーネント検索] パネルで、使用するフィルタモデルによって [フィルタの追加] または [フィルタセットの追加] をクリックします。

- 3 フィルタ用のオプションを選択します。
たとえば、マシン名または部署で検索することができます。
- 4 (オプション) 追加のフィルタまたはフィルタセットを作成します。
- 5 [検索] をクリックします。
検索条件に一致するコンポーネントが、コンポーネントの追加情報とともに一覧表示されます。

9.2 コンポーネントデータの編集

- 1 コンポーネントを **145 ページのセクション 9.1「コンポーネントの検索とコンポーネントデータの表示」** に示されているように検索します。
- 2 製品名をクリックしてコンポーネントの詳細を表示します。
[コンポーネント詳細] パネルが開き、コンポーネントに関する次の詳細が管理者定義フィールドとともに表示されます。
 - ◆ **マシン名** : マシンの名前です。
 - ◆ **製品** : 製品の名前です。
 - ◆ **アセットタグ** : アセットタグ番号です。
 - ◆ **シリアル番号** : コンポーネントのシリアル番号です。

- 3 [製品を変更] をクリックして、製品の検索ウィンドウを開きます。このウィンドウで、新しい製品名を検索して選択できます。



- 4 フィルタ条件を選択して [検索] をクリックします。
- 5 リストから製品を選択して、[製品の選択] をクリックします。
- 6 必要に応じて、その他のフィールドを編集します。
- 7 [OK] または [適用] をクリックします。

9.2.1 管理者が定義したフィールドの使用

管理者が定義したフィールドを [コンポーネント詳細] パネルに追加して、コンポーネントに関する追加の情報を表示できます。たとえば、[故障] というフィールドを追加して、[はい] または [いいえ] の選択肢を設定して製品の動作状態を表示することができます。管理者定義フィールドの作成の詳細については、[125 ページの第 7 章「管理者が定義したフィールドの使用」](#)を参照してください。

製品データの管理

製品は製造元、製品名、およびモデル/バージョンによって識別されるハードウェアまたはソフトウェアの一部です。ZENworks® コントロールセンターでは、製品の検索、製品の詳細の表示、およびカテゴリとサブカテゴリに従って製品を分類することができます。次のセクションでは、製品データの管理に関する情報について説明します。

- ◆ 149 ページのセクション 10.1 「製品の検索と製品データの表示」
- ◆ 150 ページのセクション 10.2 「製品の再分類」
- ◆ 150 ページのセクション 10.3 「製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理」

10.1 製品の検索と製品データの表示

製品データを表示する前に、製品検索を実行する必要があります。製品検索は、[製品検索] パネル([設定] > [アセットインベントリ]) から実行できます。

図 10-1 [製品検索] パネル

製造元	製品名	バージョン	カテゴリ	サブカテゴリ
使用できる項目がありません。				

[製品検索] パネルでは、特定の製品を検索するためのフィルタおよびフィルタセットを選択でき、製品を次の情報とともに一覧表示することができます。

- ◆ **製造元** : 製品の製造元です。
- ◆ **製品** : 製品の名前です。
- ◆ **バージョン** : 製品のバージョンです。
- ◆ **カテゴリ** : 製品のカテゴリです。
- ◆ **サブカテゴリ** : 製品のサブカテゴリです。

製品を検索して製品データを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 2 [製品検索] パネルで、使用するフィルタモデルによって [フィルタの追加] または [フィルタセットの追加] をクリックします。

- 3 フィルタ用のオプションを選択します。
たとえば、製品カテゴリまたはタイプで検索することができます。
- 4 (オプション) 追加のフィルタまたはフィルタセットを作成します。
- 5 [検索] をクリックします。
検索条件に一致する製品が、製品の追加情報とともに一覧表示されます。

10.2 製品の再分類

製品はカテゴリおよびサブカテゴリによって分類されます。製品の分類を変更するには、次の手順に従います。

- 1 製品を [149 ページのセクション 10.1 「製品の検索と製品データの表示」](#) に示されているように検索します。
- 2 製品名をクリックして [製品詳細] パネルを表示します。

- 3 [カテゴリ/サブカテゴリ] フィールドで、新しいカテゴリ/サブカテゴリのペアを選択します。
柔軟性を付加するために、ZENworks コントロールセンターでは新しいカテゴリ/サブカテゴリのペアを作成することができます。詳細については、[150 ページのセクション 10.3 「製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理」](#) を参照してください。
- 4 [OK] または [適用] をクリックします。

10.3 製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理

インベントリスキャン中に、ZENworks コントロールセンターは多数の製品のナレッジベースを使用してスキャンされた製品を識別します。識別されると、これらの製品はカテゴリおよびサブカテゴリによって分類されます。柔軟性を付加するために、ZENworks コントロールセンターでは製品を再分類して新しい製品カテゴリを作成することができます。

カテゴリおよびサブカテゴリは、[製品カテゴリ] パネル ([設定] > [アセットインベントリ]) で管理します。このパネルには、次の情報が表示されます。

- ◆ **カテゴリタイプ** : CPU または CD-ROM などの製品カテゴリ。これらは事前定義されています。
- ◆ **カテゴリ名** : 製品カテゴリの名前です。
- ◆ **ソース** : カテゴリ名がデフォルト値 (Novell) であるか、ユーザ定義の値 (ローカル) であるかを指定します。ローカルカテゴリのみが編集または削除可能です。

図 10-2 製品カテゴリパネル



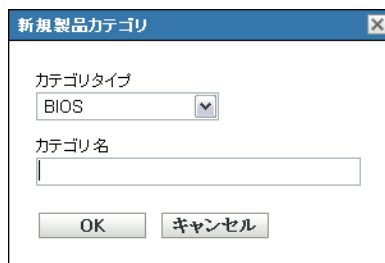
カテゴリタイプ	カテゴリ名	ソース
BIOS	BIOS	Novell
CDROM	CD/DVD	Novell
CDROM	CD/DVDローダ	Novell
CDROM	CD/DVDバーナー	Novell
CPU	プロセッサ番号	Novell

次のセクションでは、製品カテゴリおよびサブカテゴリの管理に関する情報について説明します。

- ◆ 151 ページのセクション 10.3.1 「新しい製品カテゴリの作成」
- ◆ 152 ページのセクション 10.3.2 「製品カテゴリの名前変更」
- ◆ 152 ページのセクション 10.3.3 「製品カテゴリの削除」
- ◆ 152 ページのセクション 10.3.4 「新しい製品サブカテゴリの作成」
- ◆ 153 ページのセクション 10.3.5 「製品サブカテゴリの名前変更」
- ◆ 153 ページのセクション 10.3.6 「製品サブカテゴリの削除」

10.3.1 新しい製品カテゴリの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 2 [製品カテゴリ] パネルで、[新規] をクリックします。



新規製品カテゴリ

カテゴリタイプ
BIOS

カテゴリ名
[]

OK キャンセル

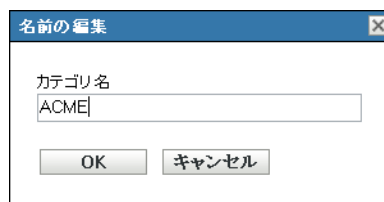
- 3 [カテゴリタイプ] フィールドでカテゴリタイプを選択します。
- 4 [カテゴリ名] フィールドで名前を指定します。

- 5 [OK] をクリックします。

新しいカテゴリがカテゴリリストに追加され、ソースが [ローカル] として表示されます。このカテゴリはサブカテゴリを割り当てることによってさらに定義することができます。詳細については、[152 ページのセクション 10.3.4 「新しい製品サブカテゴリの作成」](#)を参照してください。

10.3.2 製品カテゴリの名前変更

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 2 [製品カテゴリ] パネルで、名前変更するカテゴリを選択します。
名前変更できるカテゴリは、ソースが [ローカル] のカテゴリのみです。
- 3 [編集] > [名前変更] の順にクリックします。



- 4 [カテゴリ名] フィールドで新しい名前を指定します。
- 5 [OK] をクリックします。

10.3.3 製品カテゴリの削除

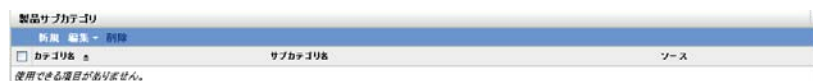
- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 2 [製品カテゴリ] パネルで、削除したいカテゴリをクリックします。
削除できるカテゴリは、ソースが [ローカル] のカテゴリのみです。
- 3 [削除] をクリックします。

10.3.4 新しい製品サブカテゴリの作成

サブカテゴリを作成すると製品をさらに分類できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[設定] をクリックし、[アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 2 [製品カテゴリ] パネルで、サブカテゴリを作成するカテゴリを選択します。
- 3 [アクション] > [サブカテゴリの管理] をクリックします。

[製品サブカテゴリ] パネルが表示され、指定したカテゴリの事前定義済みサブカテゴリが一覧表示され、サブカテゴリソース [ローカル] または [Novell] が表示されます。



- 4 **[新規]** をクリックします。
- 5 **[サブカテゴリ名]** フィールドで名前を指定します。
- 6 **[OK]** をクリックします。

10.3.5 製品サブカテゴリの名前変更

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[設定]** をクリックし、**[アセットインベントリ]** タブをクリックします。
- 2 **[製品カテゴリ]** パネルで、名前変更するサブカテゴリを選択します。
名前変更できるサブカテゴリは、ソースが **[ローカル]** のサブカテゴリのみです。
- 3 **[アクション]** > **[サブカテゴリの管理]** をクリックします。
- 4 カテゴリ / サブカテゴリのペアを選択します。
- 5 **[編集]** > **[名前変更]** の順にクリックします。
- 6 **[サブカテゴリ名]** フィールドで新しい名前を指定します。
- 7 **[OK]** をクリックします。

10.3.6 製品サブカテゴリの削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[設定]** をクリックし、**[アセットインベントリ]** タブをクリックします。
- 2 **[製品カテゴリ]** パネルで、サブカテゴリを削除したいカテゴリをクリックします。
削除できるサブカテゴリは、ソースが **[ローカル]** のサブカテゴリのみです。
- 3 **[アクション]** > **[サブカテゴリの管理]** をクリックします。
- 4 削除するカテゴリ / サブカテゴリのペアを選択します。
- 5 **[削除]** をクリックします。

トラブルシューティングアセットインベントリ

A

次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 アセットインベントリの操作時に発生する可能性のある問題の解決方法を示します。

- 155 ページの「NetWare 上の ZENworks Adaptive Agent が、ZENworks サーバにインベントリを送信したり、ZENworks サーバから設定を取得したりできない」
- 156 ページの「LDAP インポートタスクを同時に実行すると、それらが保留になる」
- 156 ページの「インベントリのみ管理対象デバイスがスキャンをポストできない」
- 156 ページの「Linux プライマリサーバ用の管理対象デバイスのインベントリデータが表示されない」
- 156 ページの「デバッグのログを使用可能にするには？」
- 157 ページの「ZENworks コントロールセンターで、ポータブルコレクタによって収集されたインベントリデータをインポートできない」

NetWare 上の ZENworks Adaptive Agent が、ZENworks サーバにインベントリを送信したり、ZENworks サーバから設定を取得したりできない

ソース：ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

考えられる原因 1: ZENworks サーバの IP アドレスが正しくありません。

アクション 1: 正しい IP アドレスを設定します。

- 1 sys:\ZENworks\zaa\uiacnfig.xml ファイルで、次の行の正しい IP アドレスを指定します。

```
<server>ipaddress:80</server>
```

ここで、*ipaddress* には、サーバのアドレスを指定します。

- 2 (オプション) スキャンをただちにポストするには、zenaa モジュールを再起動します。

考えられる原因 2: ネットワーク接続または ZENworks サーバが機能していません。

アクション 2: ZENworks サーバが正常に稼働しているかどうか確認してください。

考えられる原因 3: プライマリサーバが、80 以外のポートで稼働するように設定されています。

アクション 3: 正しいポート番号を設定します。

- 1 sys:\ZENworks\zaa\uiacnfig.xml ファイル内で、次の行に正しいポート番号を設定します。

```
<server>ipaddress:80</server>
```

ここで、*ipaddress* には、サーバのアドレスを指定します。

- 2 (オプション) スキャンをただちにポストするには、zenaa モジュールを再起動します。

LDAP インポートタスクを同時に実行すると、それらが保留になる

ソース：ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

説明：LDAP インポートタスクが終了していない状態で、新しいタスクを同時に実行した場合、新しいタスクが起動せず、保留状態のままになります。

考えられる原因 1: 複数のタスクを同時に実行しています。

アクション 1: 新しいタスクを実行する前に、既存タスクがすべて、終了状態にあることを確認します。

考えられる原因 2: 複数のタスクが同じスケジュールで稼動するように設定されていません。

アクション 2: 複数のタスクに同じスケジュールまたは同時スケジュールを設定しないようにします。

インベントリのみ管理対象デバイスがスキャンをポストできない

ソース：ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

考えられる原因：uiaconfig.xml ファイルが破損している可能性があります。

アクション：次を実行します。

- 1 uiaconfig.xml ファイル内で、次の行の IP アドレスを追加または変更します。

```
Server="a.b.c.d"
```

ここで、*a.b.c.d* には、サーバの IP アドレスを指定します。

Linux では、uiaconfig.xml は、opt/novell/zenworks/umia にあります。

- 2 (オプション) スキャンをただちにポストするには、zenumia サービスを再起動します。

Linux プライマリサーバ用の管理対象デバイスのインベントリデータが表示されない

ソース：ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

説明：ZENworks コントロールセンターで、Linux プライマリサーバ用の管理対象デバイスのインベントリデータが表示されません。

アクション：Linux プライマリサーバにインベントリのみエージェントをインストールします。Linux プライマリサーバが非管理対象デバイスとして ZCC に表示されます ([デバイス] > [インベントリ済み])。

インベントリのみエージェントのインストール方法については、『ZENworks 10 検出、展開、リタイアリファレンス』の「Linux/UNIX でのインストール」を参照してください。

デバッグのログを使用可能にするには？

ソース：ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

アクション：これらのログを有効にするには、「Novell サポートナレッジベース (http://support.novell.com/search/kb_index.jsp)」の TID 3418069 を参照してください。

ZENworks コントロールセンターで、ポータブルコレクタによって収集されたインベントリデータをインポートできない

ソース： ZENworks 10 Asset Management、アセットインベントリ

考えられる原因： インベントリスキャンファイルに、&、#、1 などの特殊文字が <DateInstalled> タグとともに付加されています。次に例を示します。

```
<DateInstalled>&#1;</DateInstalled>
```

アクション： 次を実行します。

- 1 インベントリデータのインポート元にする .xml ファイルから、<DateInstalled> タグで付加されたすべての特殊文字 (&、#、1 など) を削除し、タグが次の情報のみを含むようにします。

```
<DateInstalled></DateInstalled>
```

- 2 インベントリデータを再度インポートします。

詳細については、68 ページのセクション 3.6.4 「ポータブルコレクタを使用して収集したデータのインポート」を参照してください。

